

静岡県の 新型コロナウイルス感染症者 発生・入院等の状況 (2022年7月1日時点)

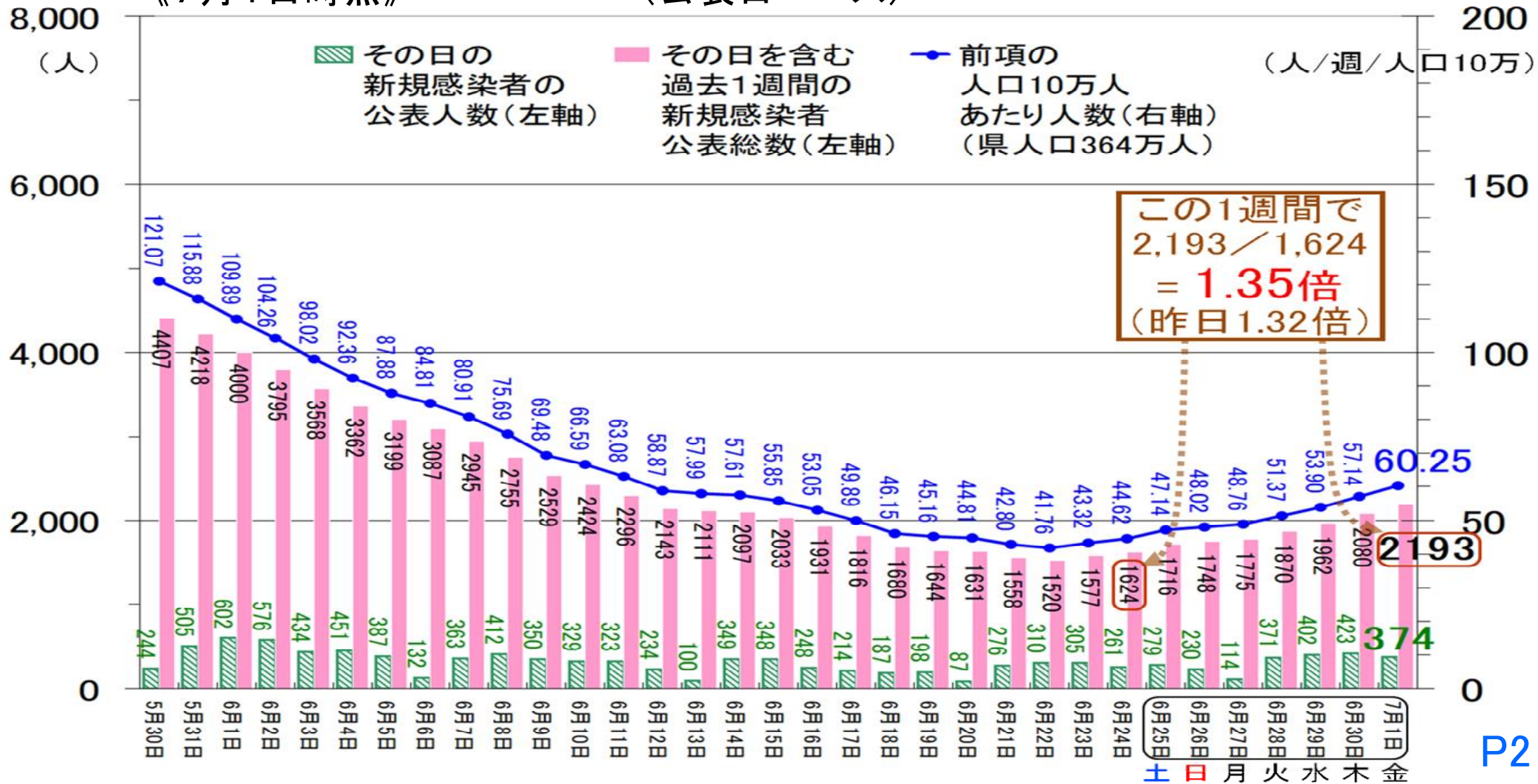


静岡県健康福祉部 新型コロナ対策 企画課 & 推進課

静岡県の直近1か月の新型コロナ新規感染者数の状況

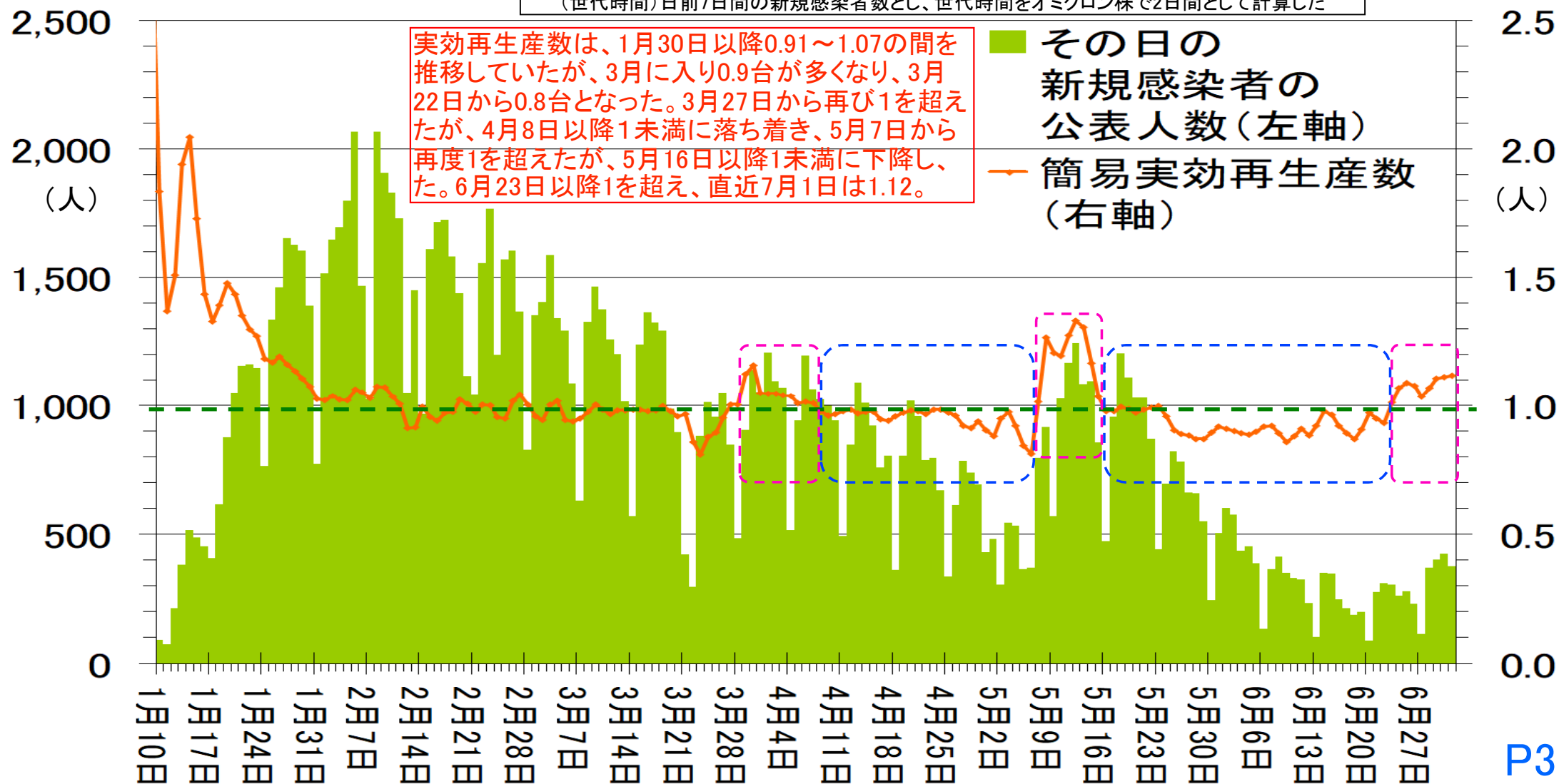
《7月1日時点》

(公表日ベース)

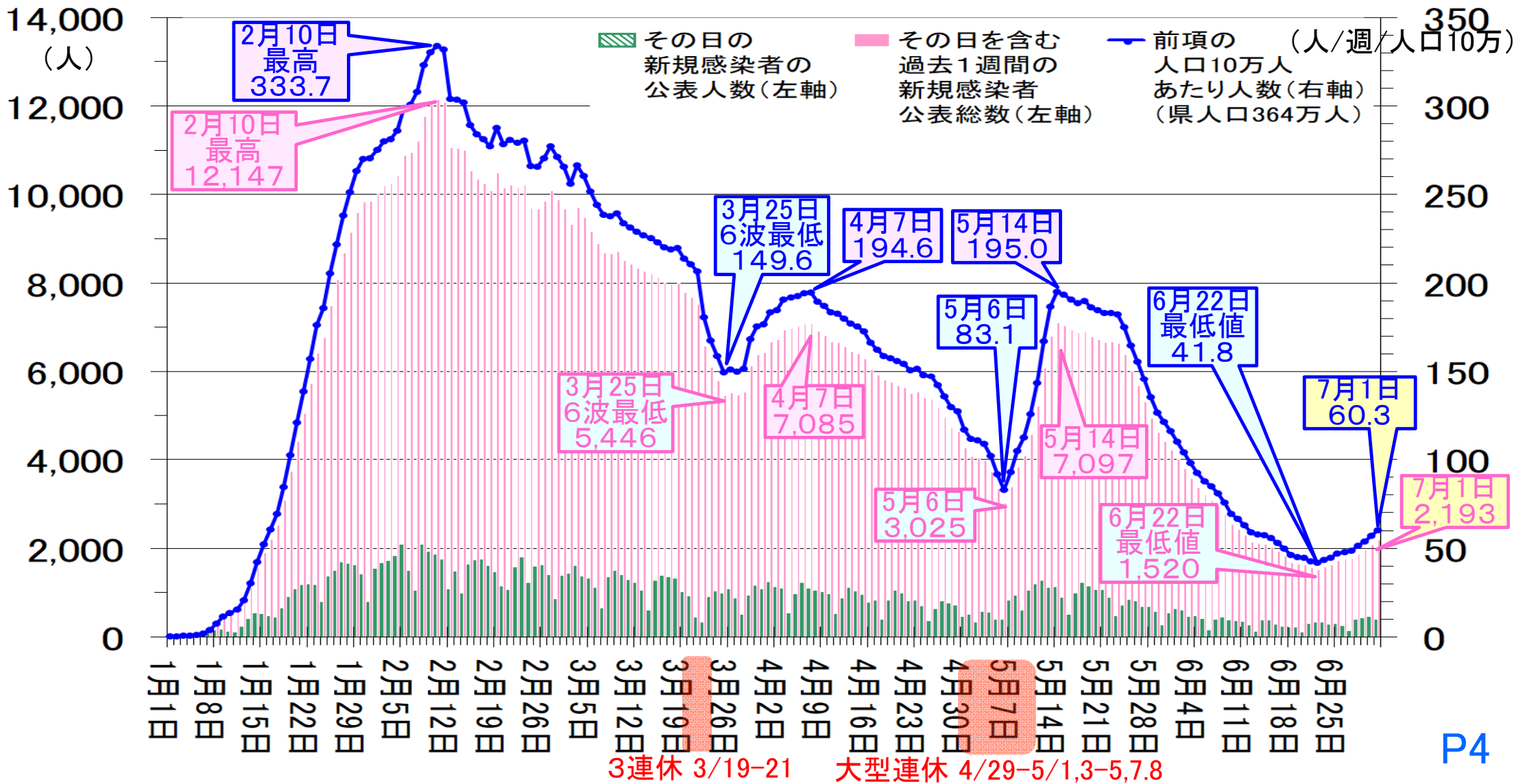


静岡県の新型コロナ新規感染者数と簡易実効再生産数(1/10~7/1)

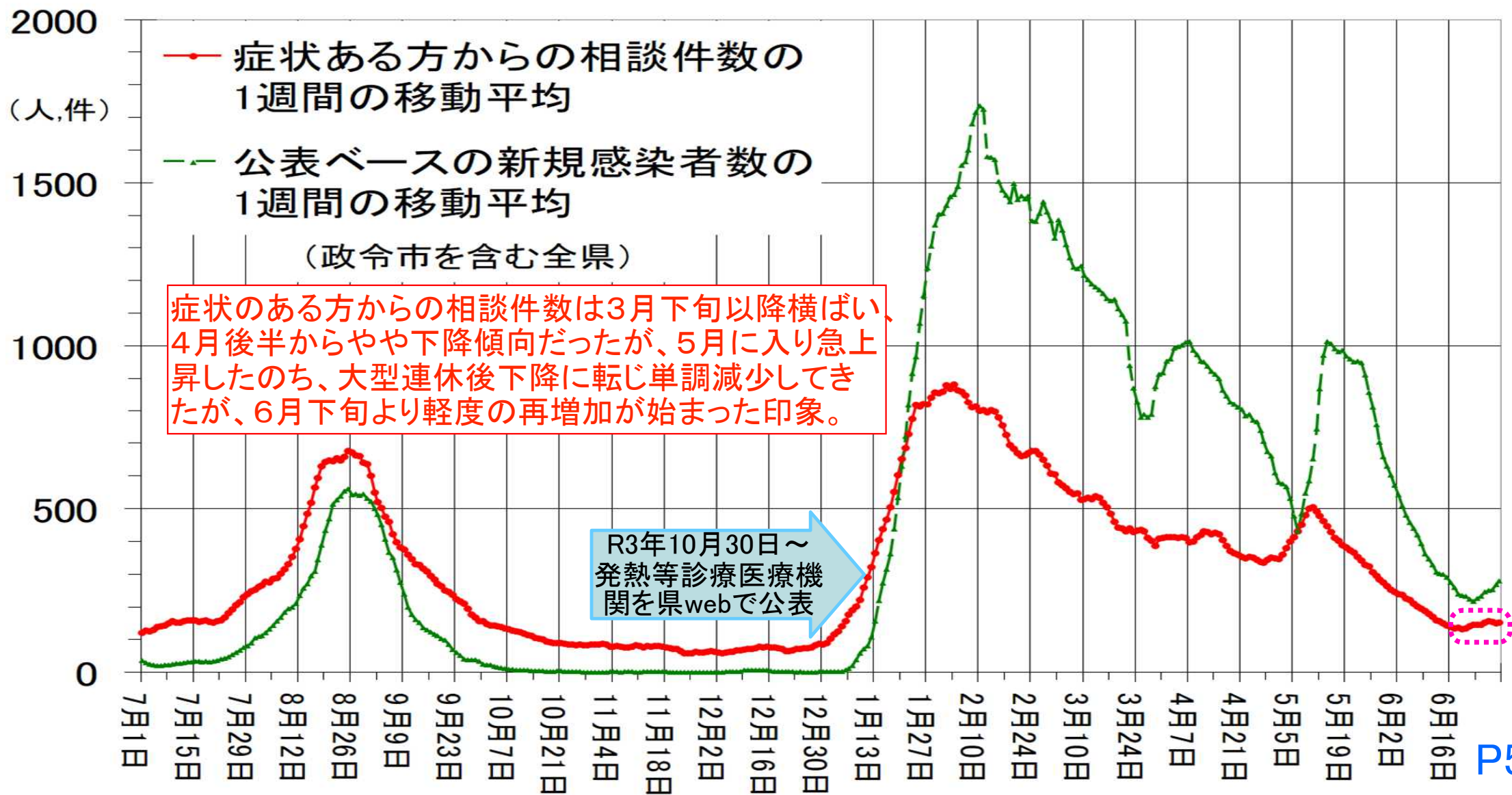
国立感染症研究所の報告に基づき、簡易実効再生産数を直近7日間の新規感染者数/
(世代時間)日前7日間の新規感染者数とし、世代時間をオミクロン株で2日間として計算した



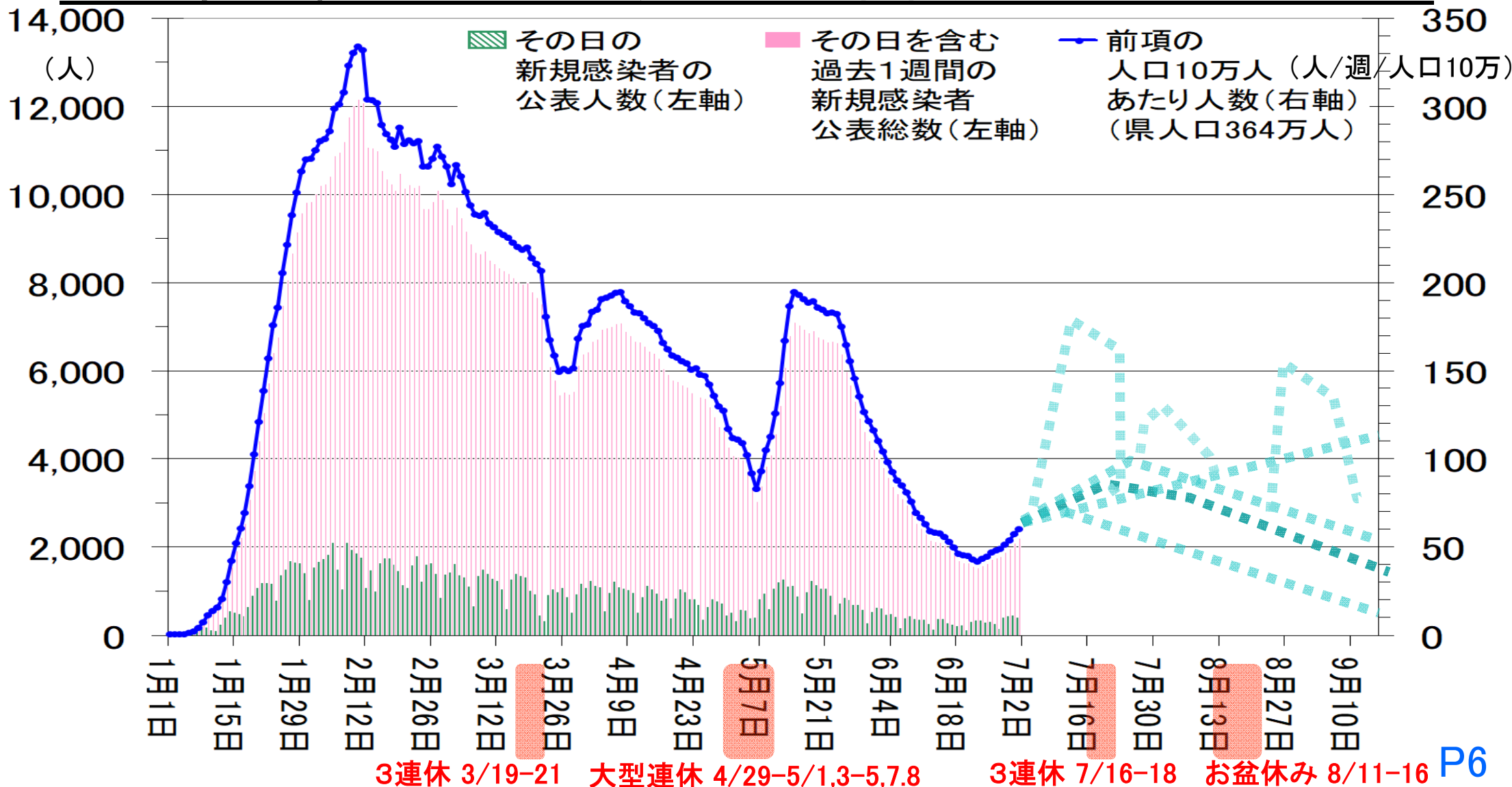
静岡県第6波以降 これまでの全体像(1/1~7/1)



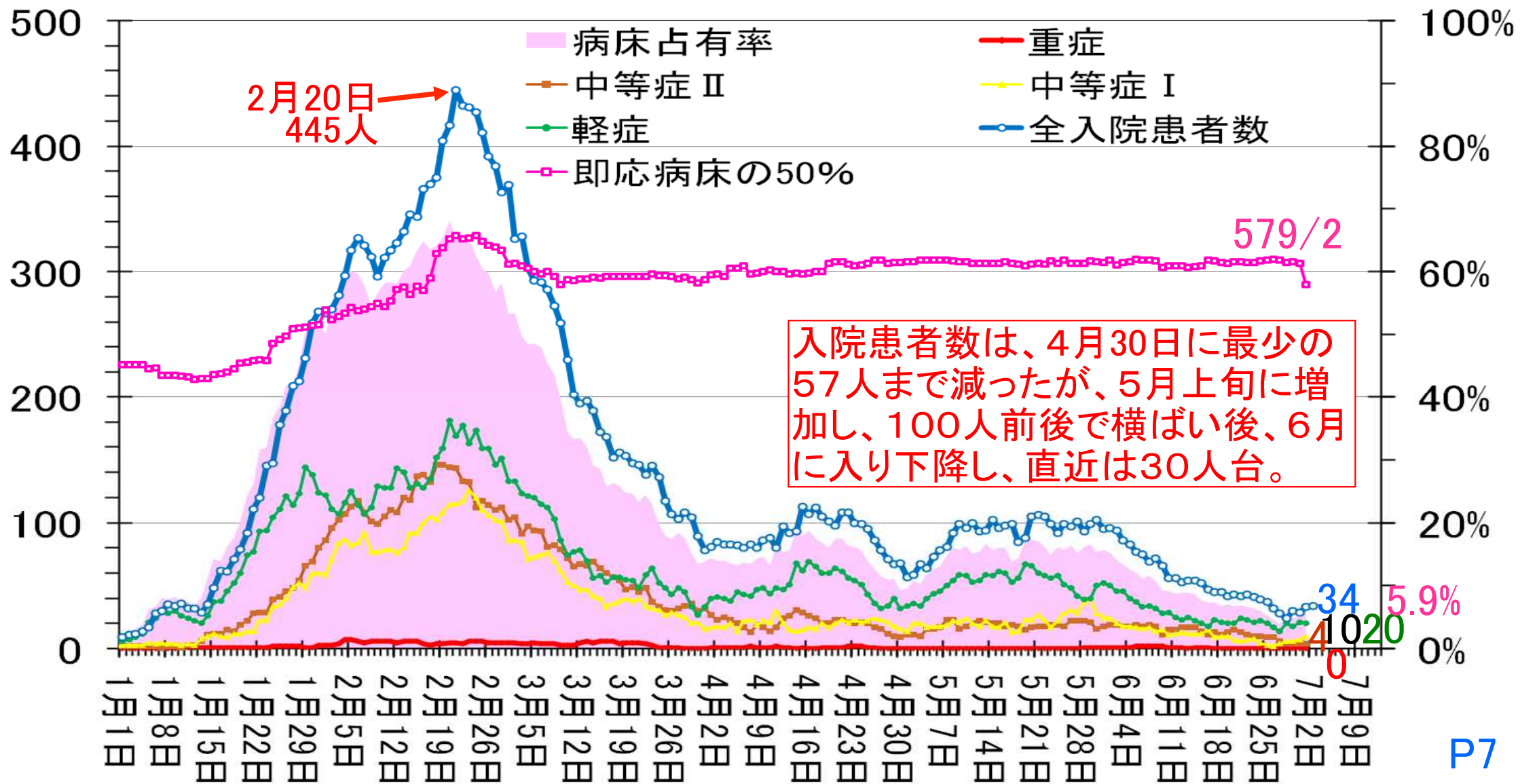
静岡県 発熱等受診相談センターの有症状者相談件数と感染者数(7/1~6/29)



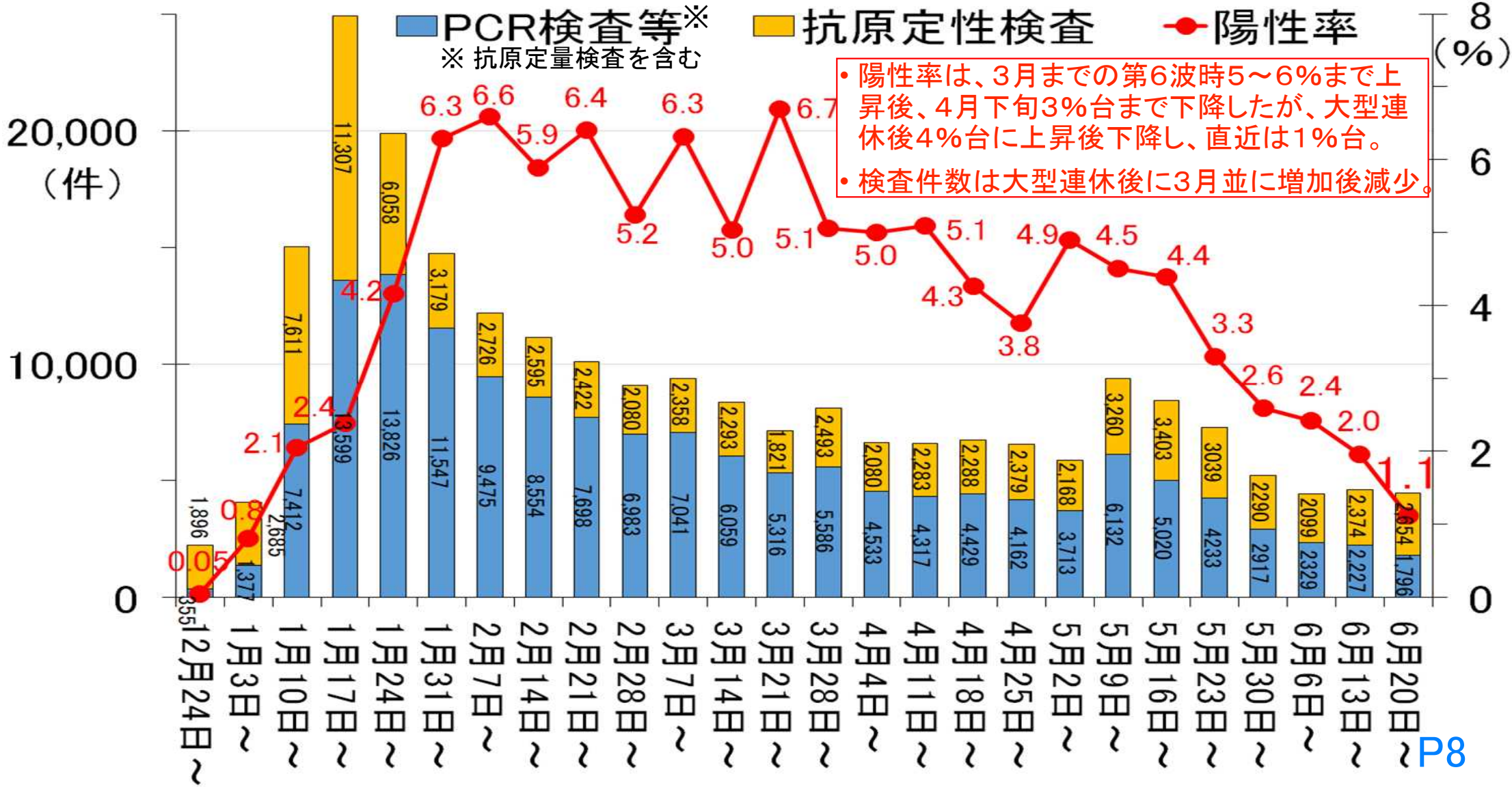
静岡県第6波以降と今後の感染者発生予想(イメージ)



静岡県 コロナ受入病院 入院患者重症度別推移(1/1~7/1)

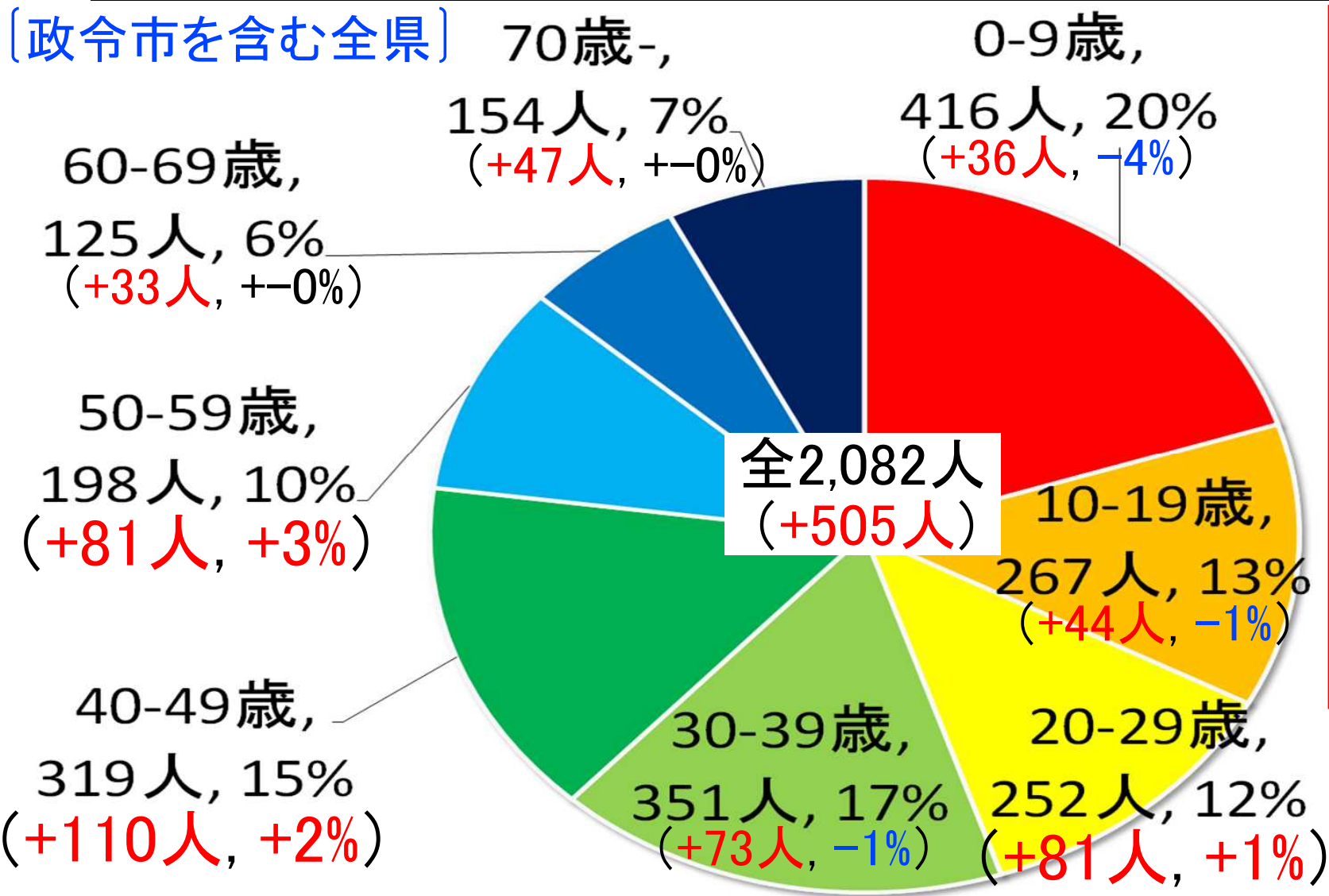


静岡県 無料検査の検査件数と陽性率(12/24～6/26)



静岡県直近の年齢別感染者数・割合(6/24~30)

[政令市を含む全県]

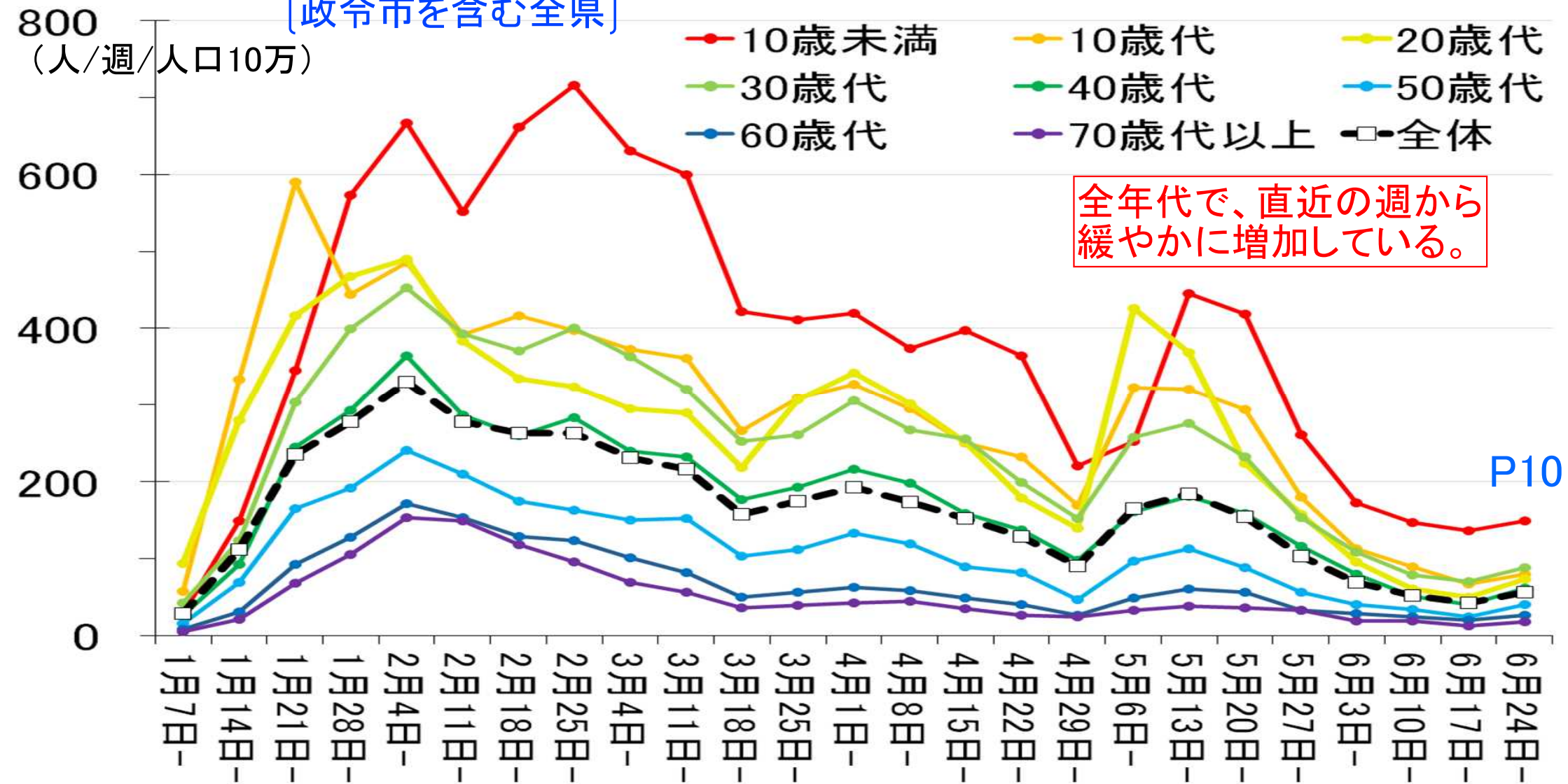


10歳未満が前週より4ポイント減少したが、20%で最多。
 60歳代と70歳以上は、前週と%は変わらない。
 20歳代以下で全体の約45%、40歳代以下で約80%、60歳以上は13%。
 全年代で人数が増加したが、40歳代が最多で、次いで50歳代と20歳代

(+○○人, +-□%)
 は前週との増減

静岡県 年代別人口10万人あたり週感染者数(1/7~6/30)

〔政令市を含む全県〕

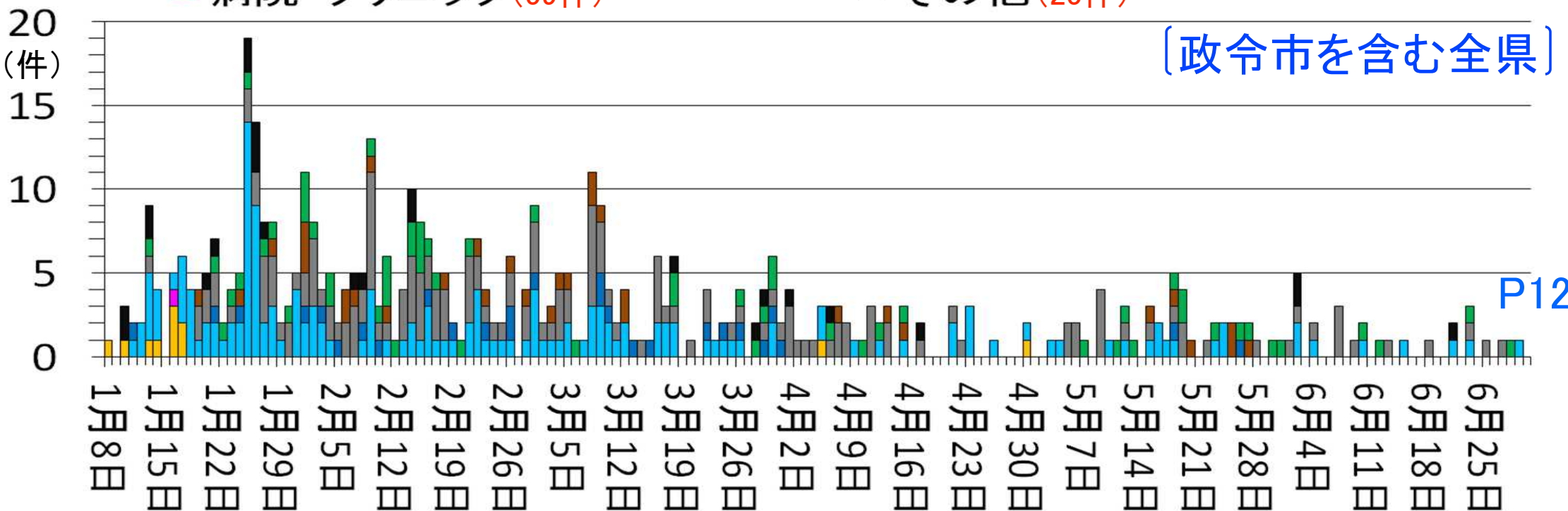


静岡県 感染者集団(クラスター)の種類と件数(1/8~6/30)

全482件中、高齢者施設と学校・保育施設がともに163件(34%)で最多次いで、病院・クリニックは59件(12%)

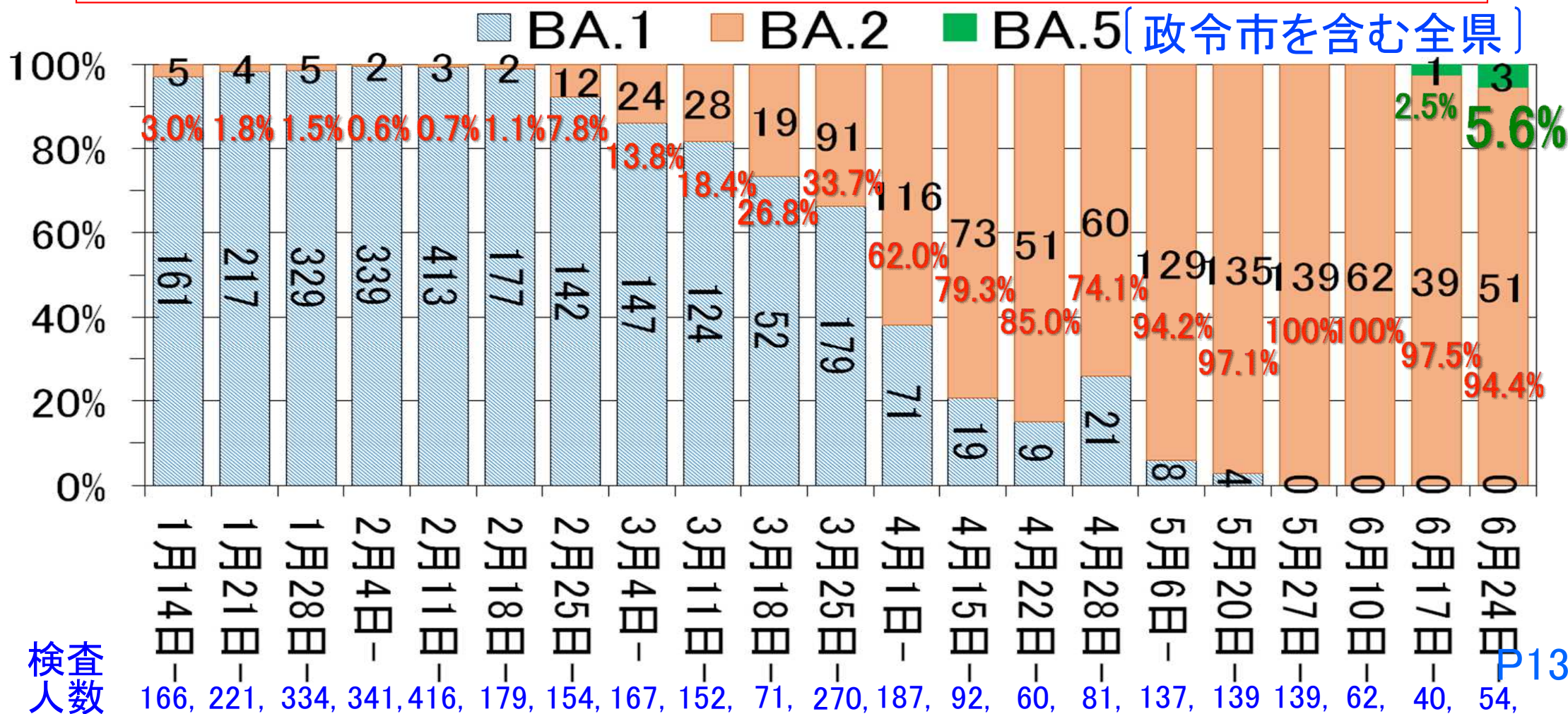
- 住宅等での知人との会食 (11件)
- 学校・保育施設 (163件)
- 高齢者施設 (163件)
- 病院・クリニック (59件)
- 接待を伴う飲食店 (1件)
- 事業所・工場 (27件)
- 高齢者以外の福祉施設 (33件)
- その他 (25件)

〔政令市を含む全県〕



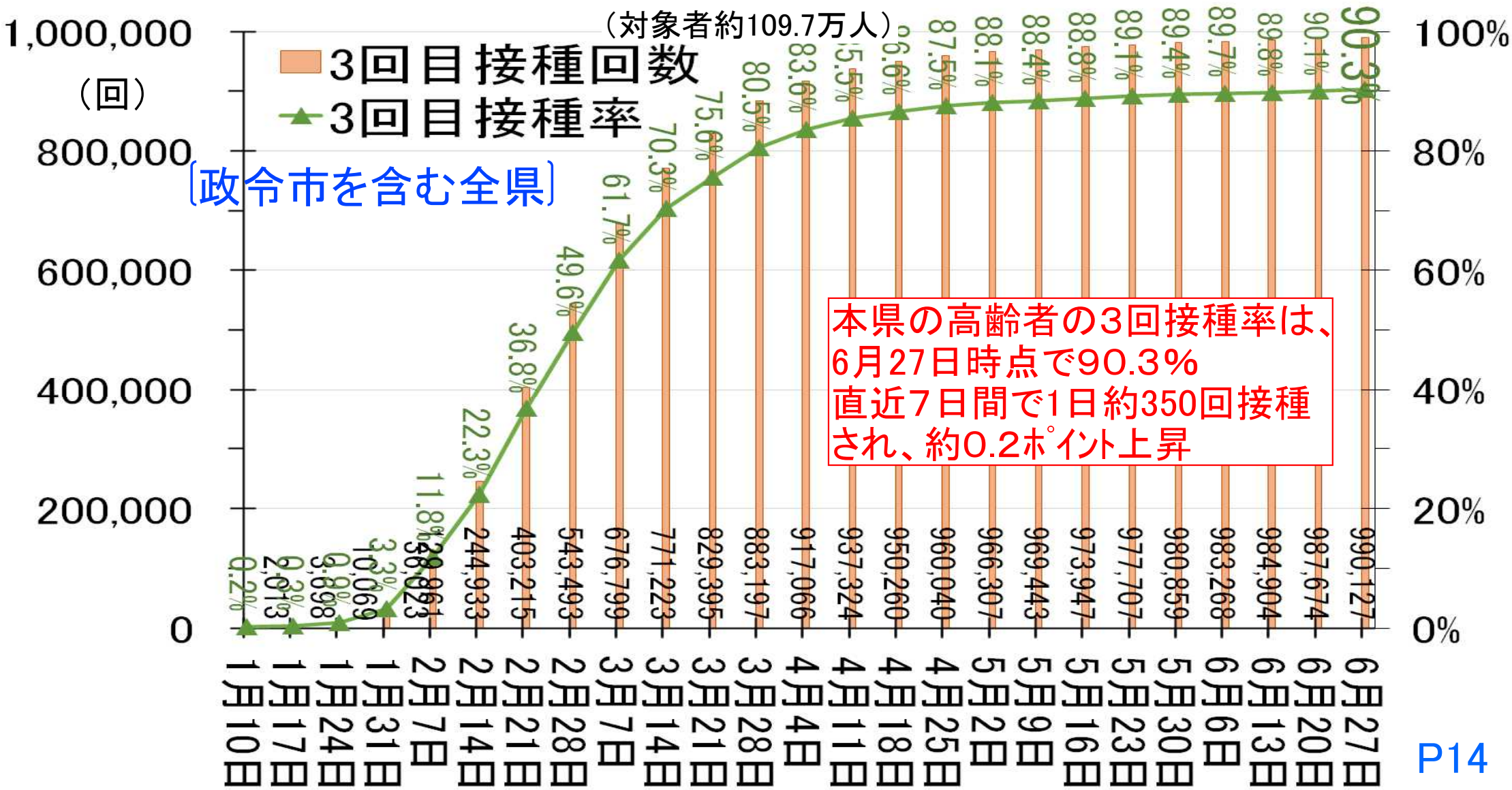
オミクロン株BA.1とBA.2の割合の推移（1/14～6/30）

オミクロン株全体の中でBA.2が占める割合は、2月下旬より増加し始めて、5月上旬に90%台となり、5月末より100%となり、6月中旬よりBA.5が検出され始めた。

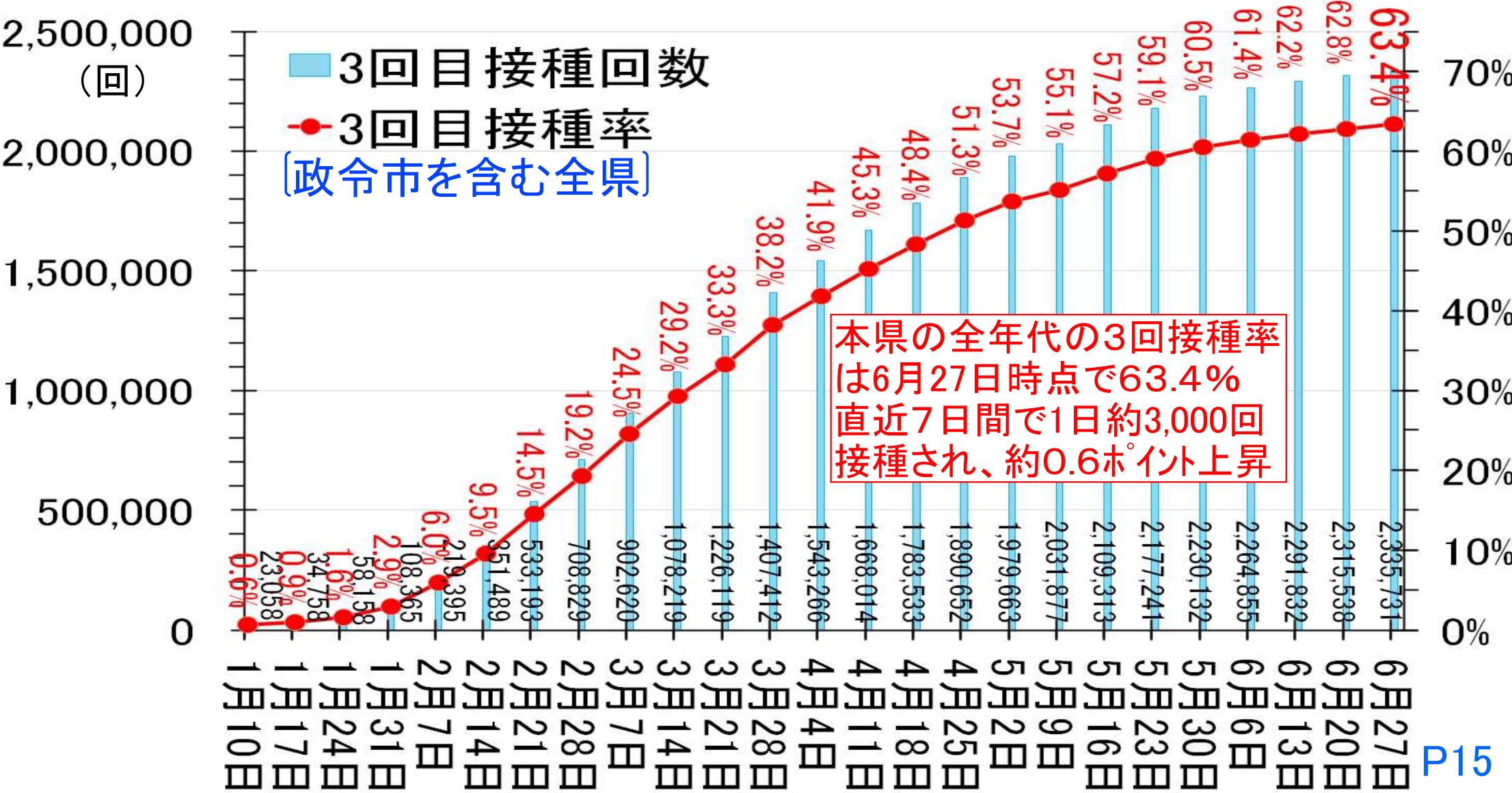


検査人数

静岡県 コロナワクチン3回目接種状況 高齢者(1/10~6/27)



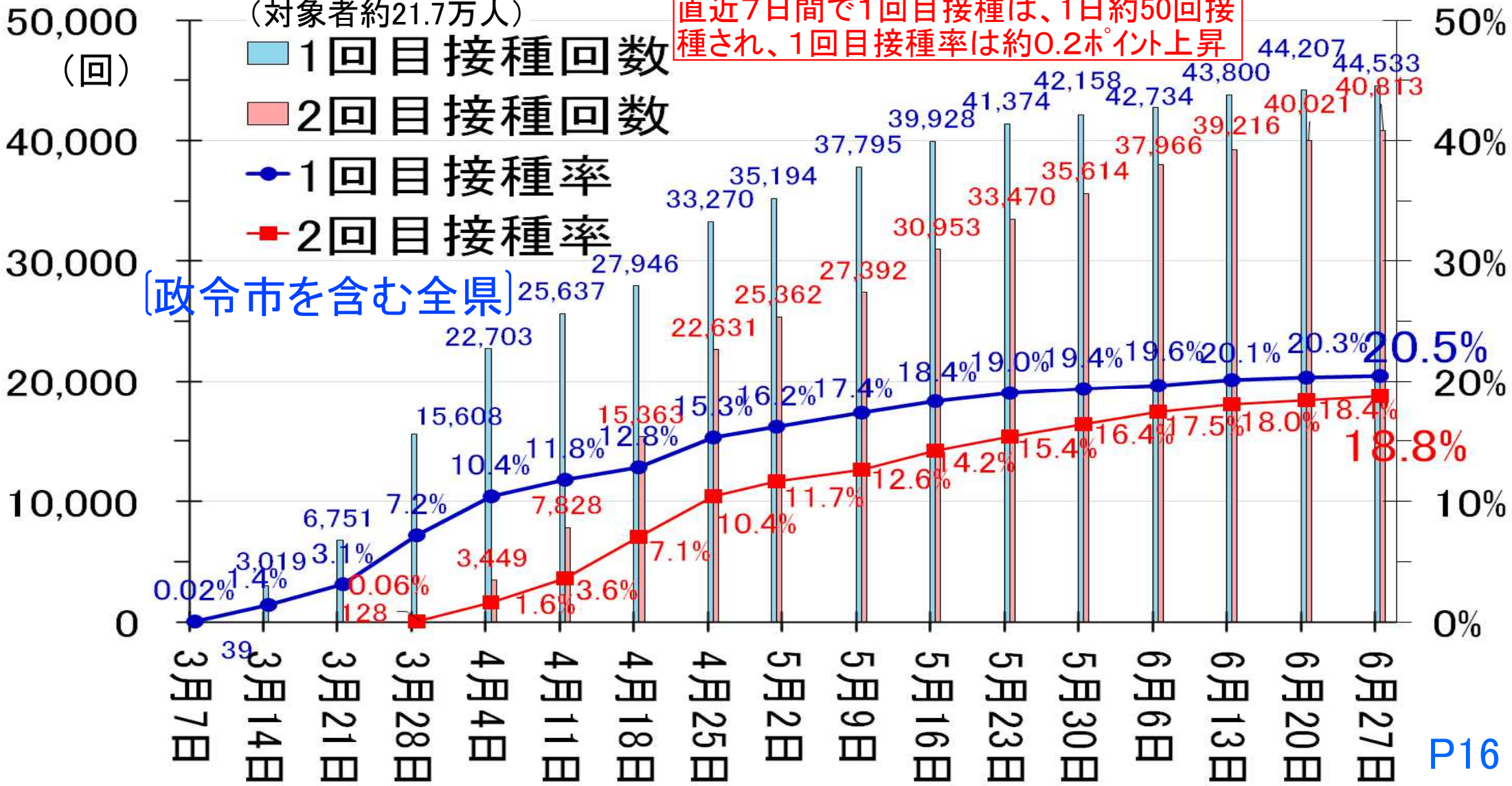
静岡県 コロナワクチン3回目接種状況 全年代(1/10~6/27)



静岡県 コロナワクチン5～11歳接種状況 (3/7～6/27)

(対象者約21.7万人)

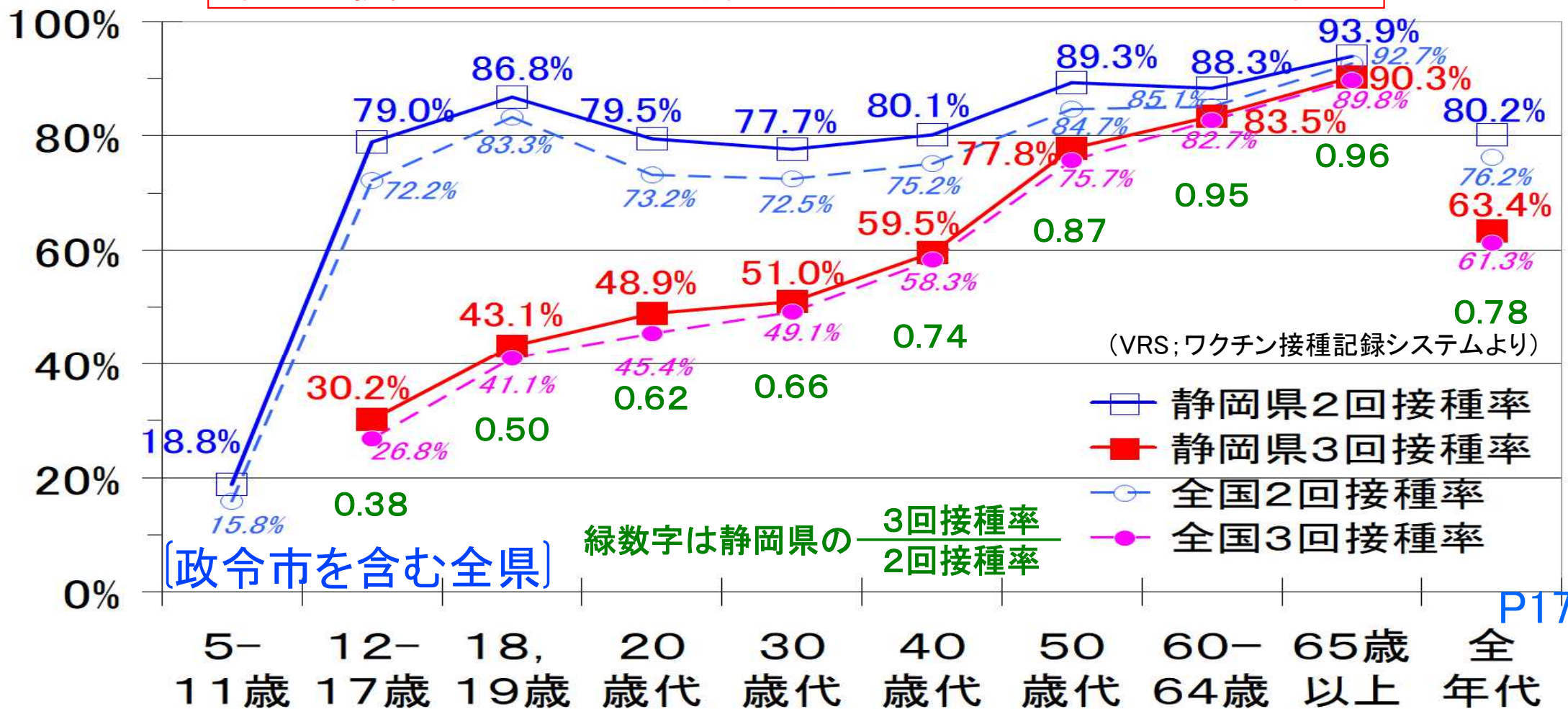
直近7日間で1回目接種は、1日約50回接種され、1回目接種率は約0.2ポイント上昇



(政令市を含む全県)

県と国 コロナワクチン年代別接種率（6/27時点）

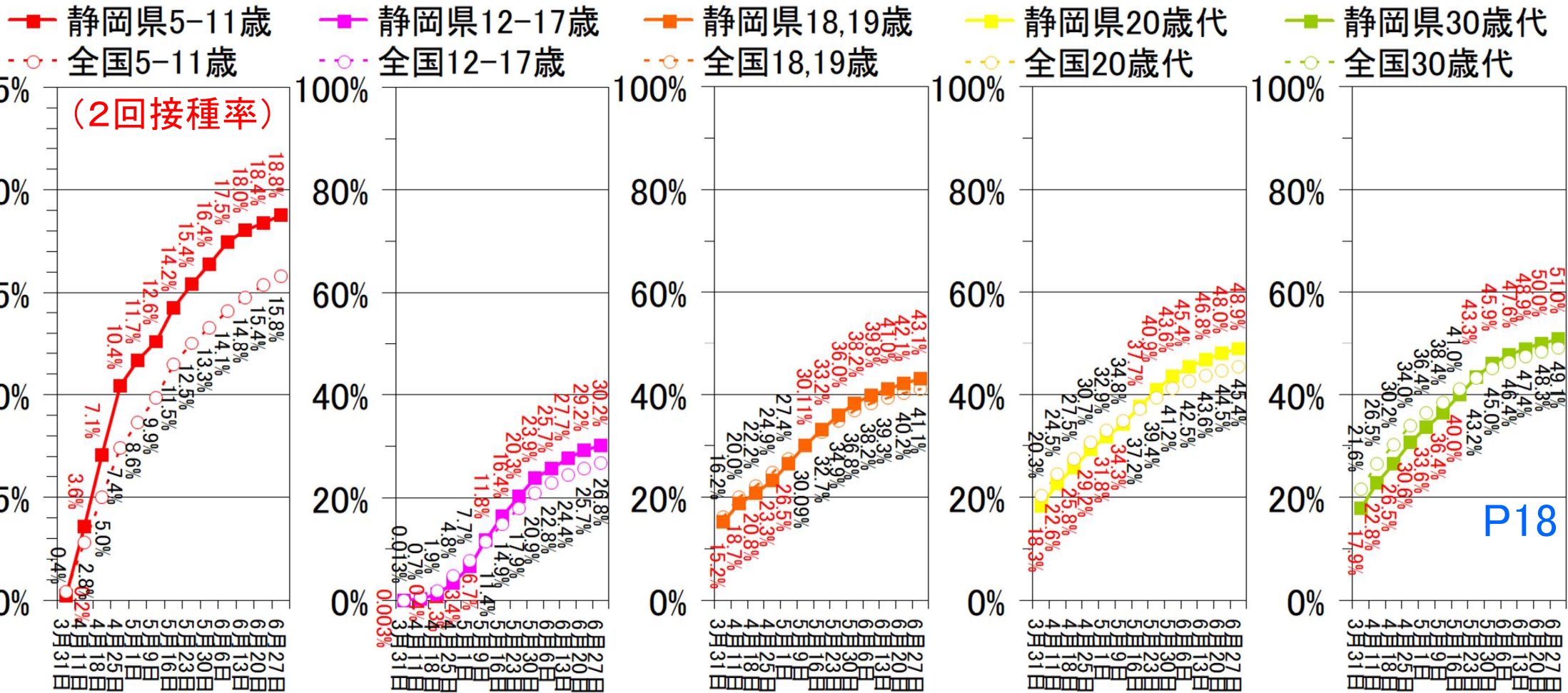
- ・県の3回接種率は、50歳以上は77%以上、40歳代59%、30歳代51%となる。18～20歳台も40%台となり、12～17歳も30%を超えた。
- ・県の3回接種率を全国と比べると、各年代すべてで全国より0.5～3.5ポイント高い。



県と国 コロナワクチン年代別3回接種率 (3/31-6/27)

- ・県の5～11歳の2回接種率は、全国平均より3ポイント高いが、直近1週間での増加は0.4ポイントにとどまる。
- ・県の12歳～30歳代までの3回接種率は、全国平均より1.9～3.5ポイント高く、直近1週間で0.9～1.0ポイント増加している。

【政令市を含む全県】

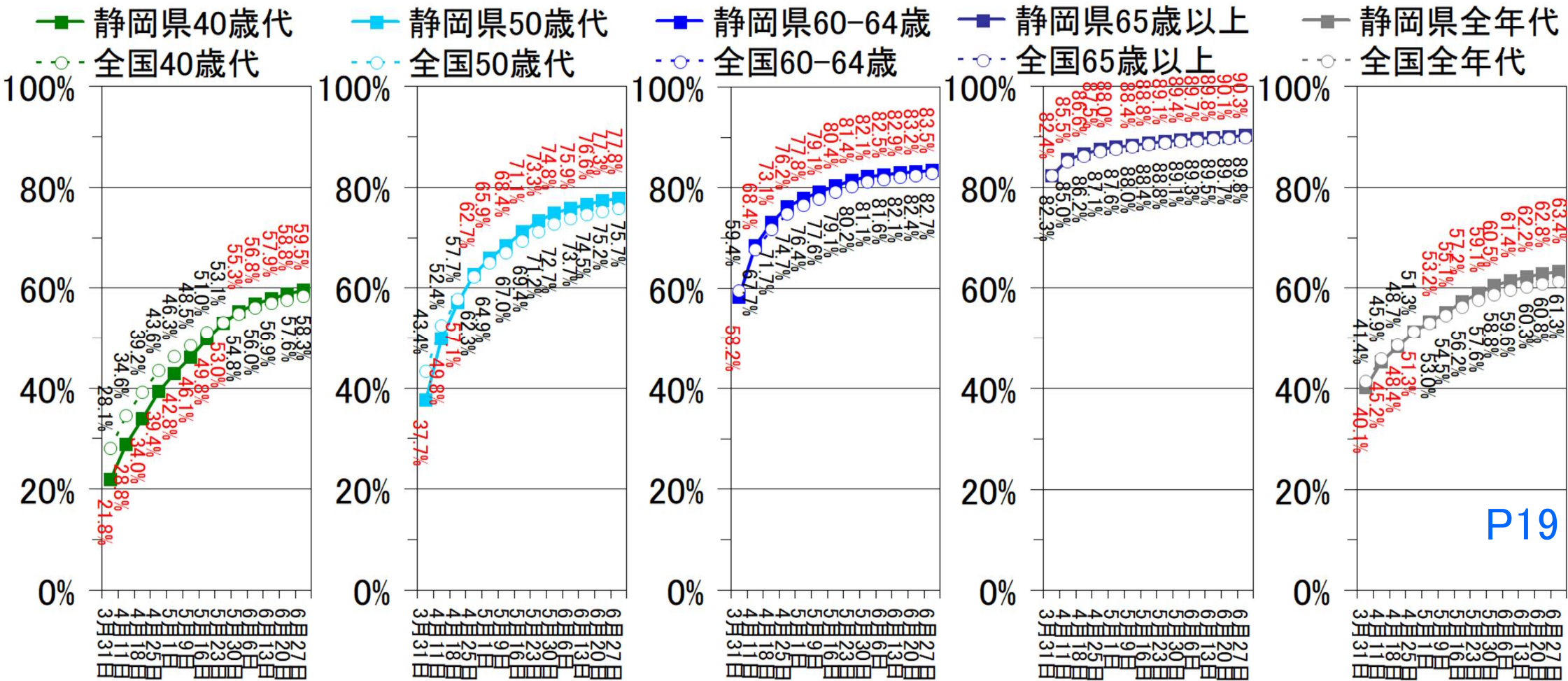


P18

県と国 コロナワクチン年代別3回接種率 (3/31-6/27)

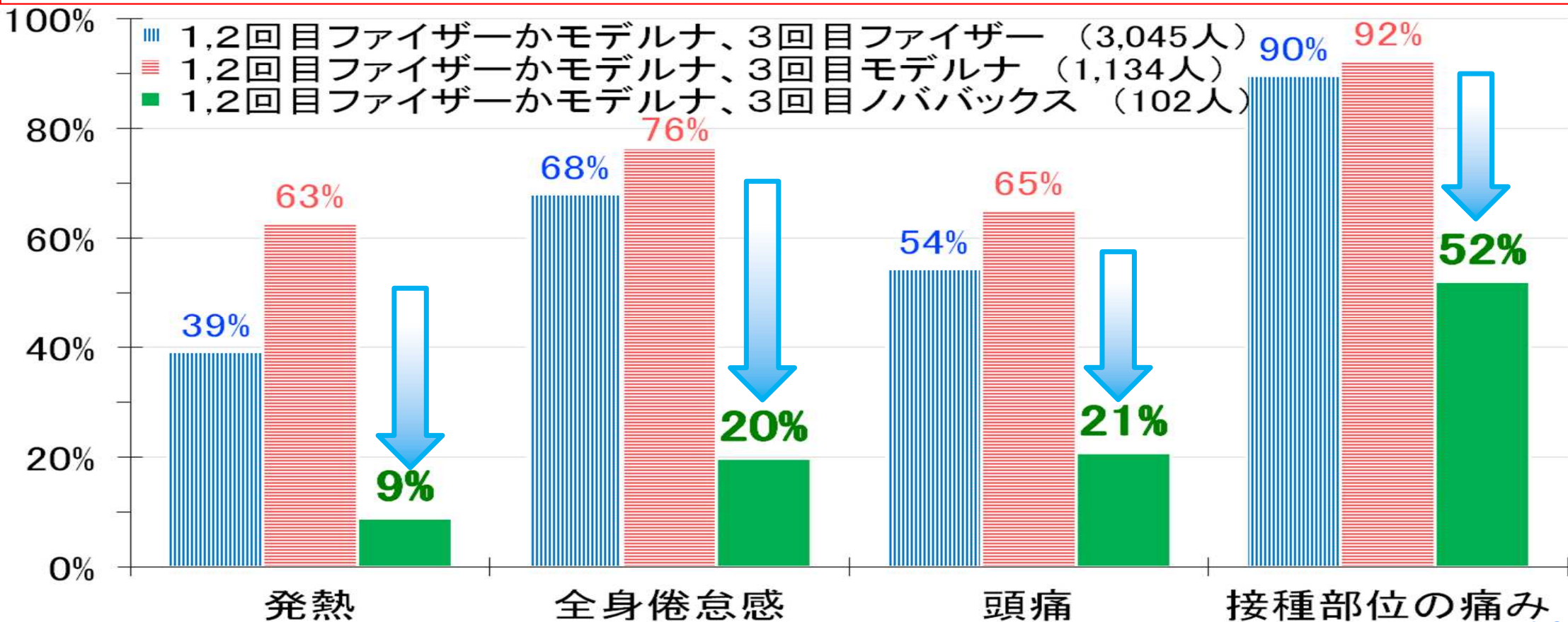
- ・県の40歳代以上の3回接種率は全国より0.5~2.1ポイント高く、全年代では2.1ポイント高い。
- ・県の40歳代以上の接種率は直近1週間で0.2~0.7ポイントの増加にとどまり、全年代の増加も0.6ポイントと鈍化している。

[政令市を含む全県]



ノババックス ワクチン3回目接種後の副反応頻度(7/1時点)

- ファイザーやモデルナワクチンの2回接種後、静岡県の大規模接種会場で3回目にノババックスワクチンを接種した方へ副反応の状況を調査させていただき、102人に回答をいただいた時点(7/1朝)で結果をまとめた。
- 102人のうち2回目後の副反応に比べ、3回目のノババックス後の副反応の方がつらかった人は3人のみだった。
- ファイザーやモデルナの3回目接種後の副反応調査結果と比べて、ノババックス3回目は副反応が少なかった。

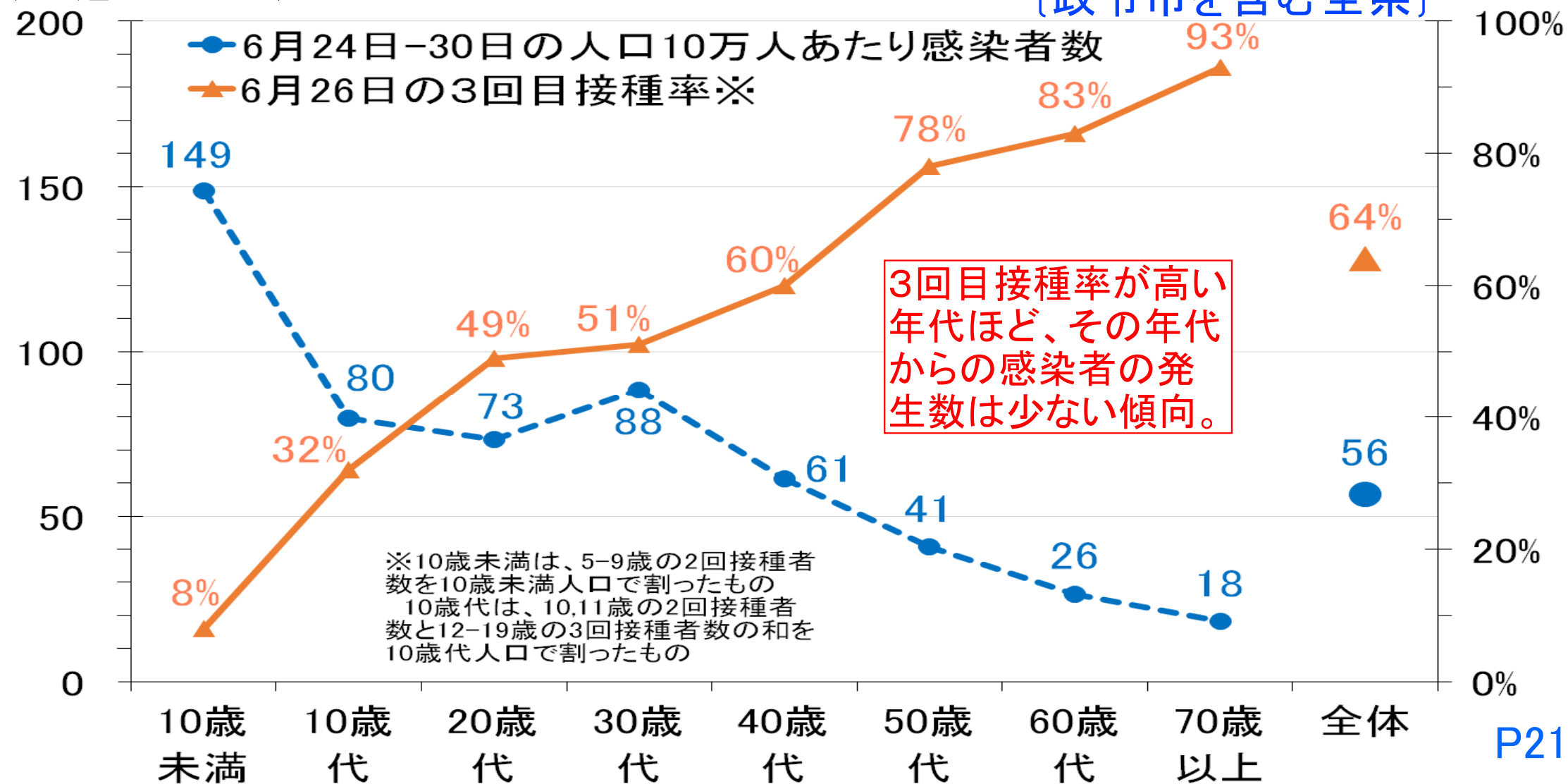


(順天堂大学コロナワクチン研究事務局のデータ 及び 静岡県新型コロナ対策推進課調べ より)

静岡県 年代別 3回目接種率と人口10万人あたり1週間感染者数 (6/24~30)

(人/週/人口10万)

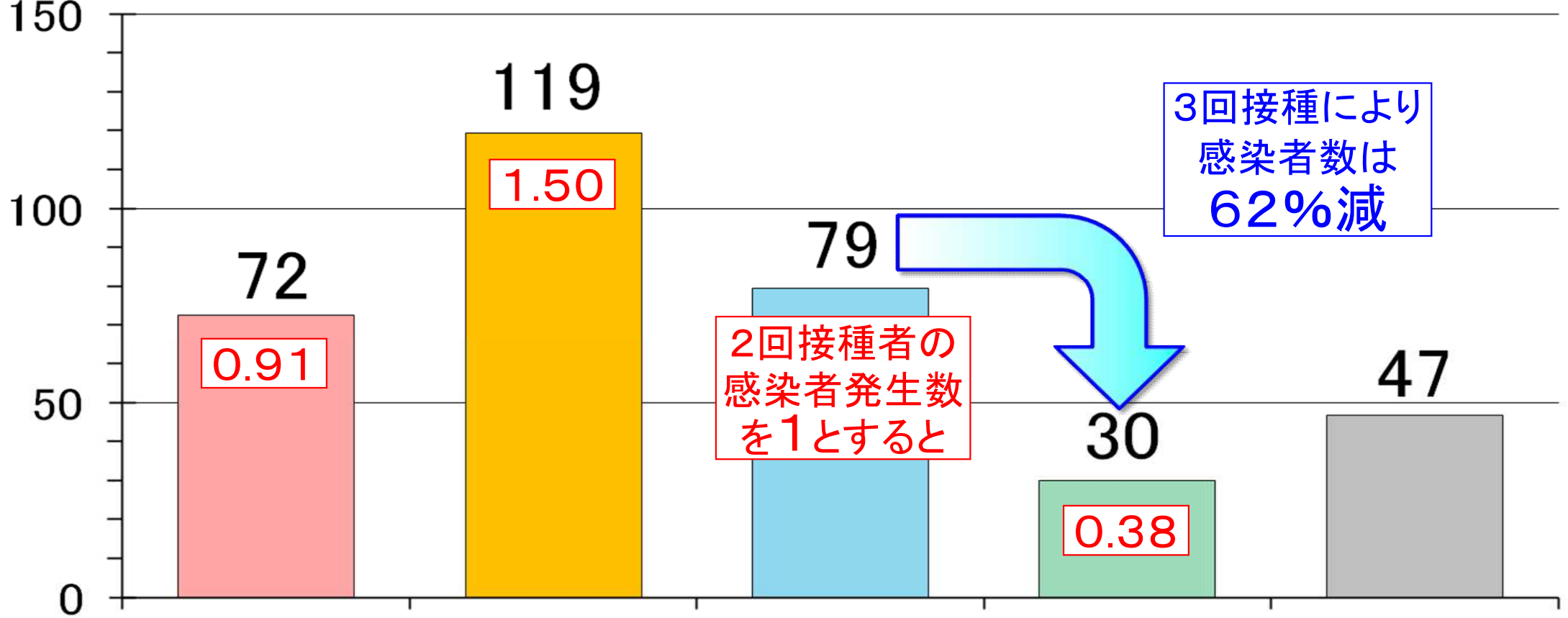
〔政令市を含む全県〕



ワクチン接種回数別 人口10万人あたり1週間感染者発生状況 (6/24~30)

(人/週/人口10万)

[政令市を除く県所管地域]



3回接種により
感染者数は
62%減

2回接種者の
感染者発生数
を1とすると

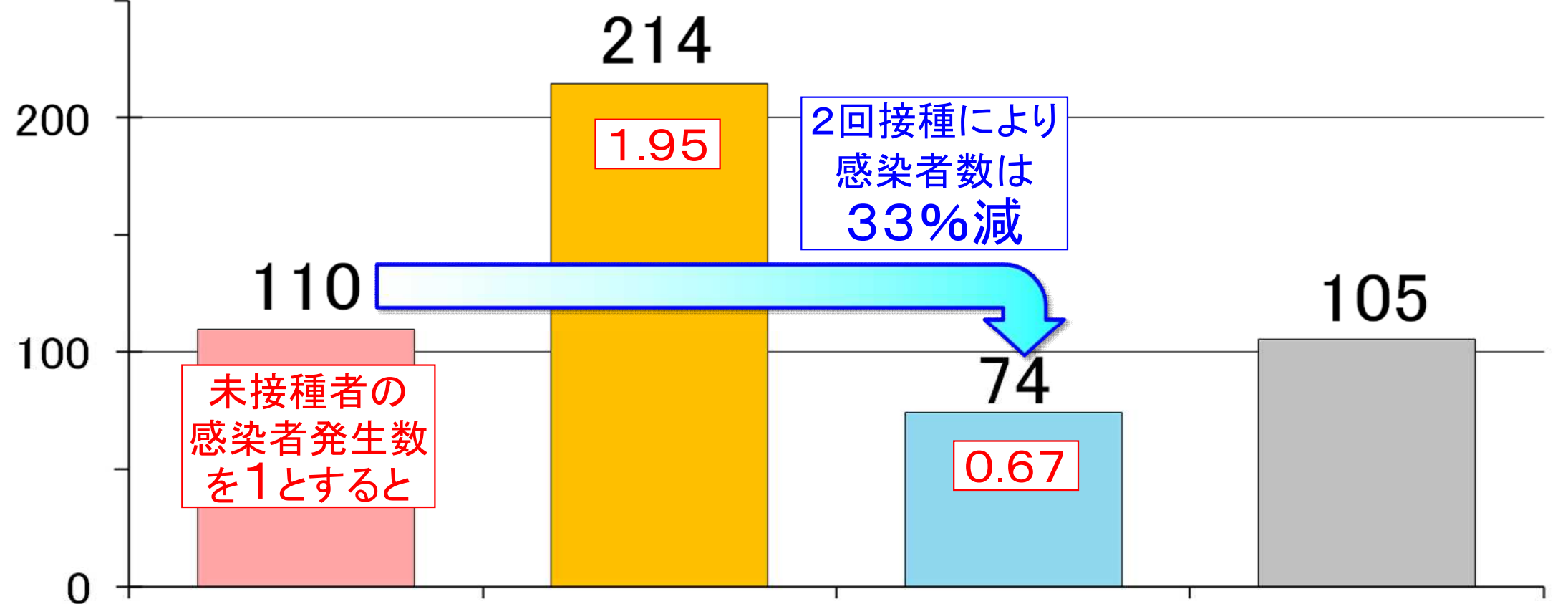
6月26日
時点人数
6月24-30日
感染者数

接種回数	6月26日時点人数	6月24-30日感染者数
未接種者	(436,121人)	316人
1回接種者	(11,727人)	14人
2回接種者	(347,765人)	276人
3回接種者	(1,396,385人)	417人
県所管全体	(人口2,191,998人)	1023人

小児ワクチン接種回数別 人口10万人あたり1週間感染者発生状況 (6/24~30)

(人/週/人口10万)

[政令市を除く県所管地域]



未接種者の
感染者発生数
を1とすると

2回接種により
感染者数は
33%減

〔6月12日
時点人数〕
6月24-30日
感染者数

未接種者
(100,089人)

110人

1回接種者
(3,264人)

7人

2回接種者
(25,678人)

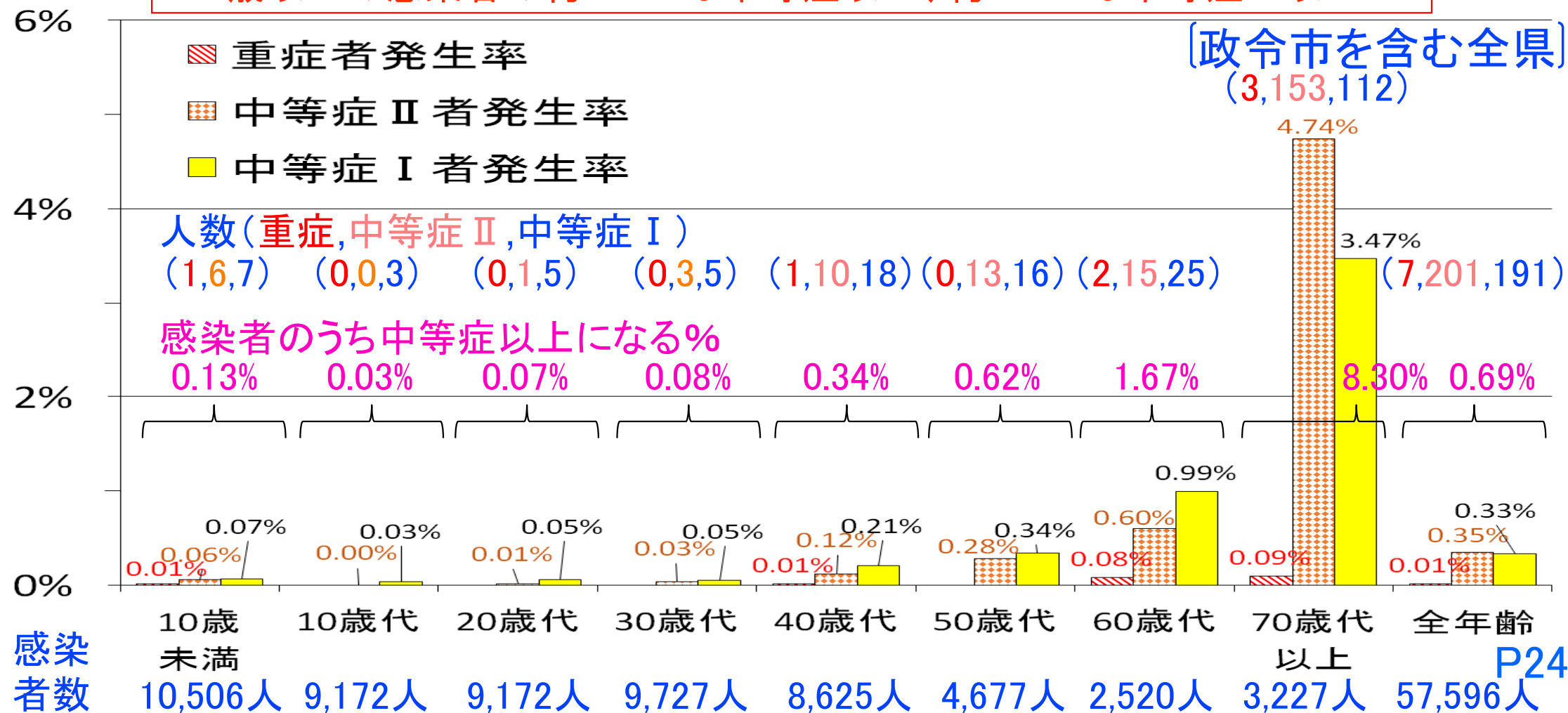
19人

県所管全体
(5-11歳人口129,031人)

136人

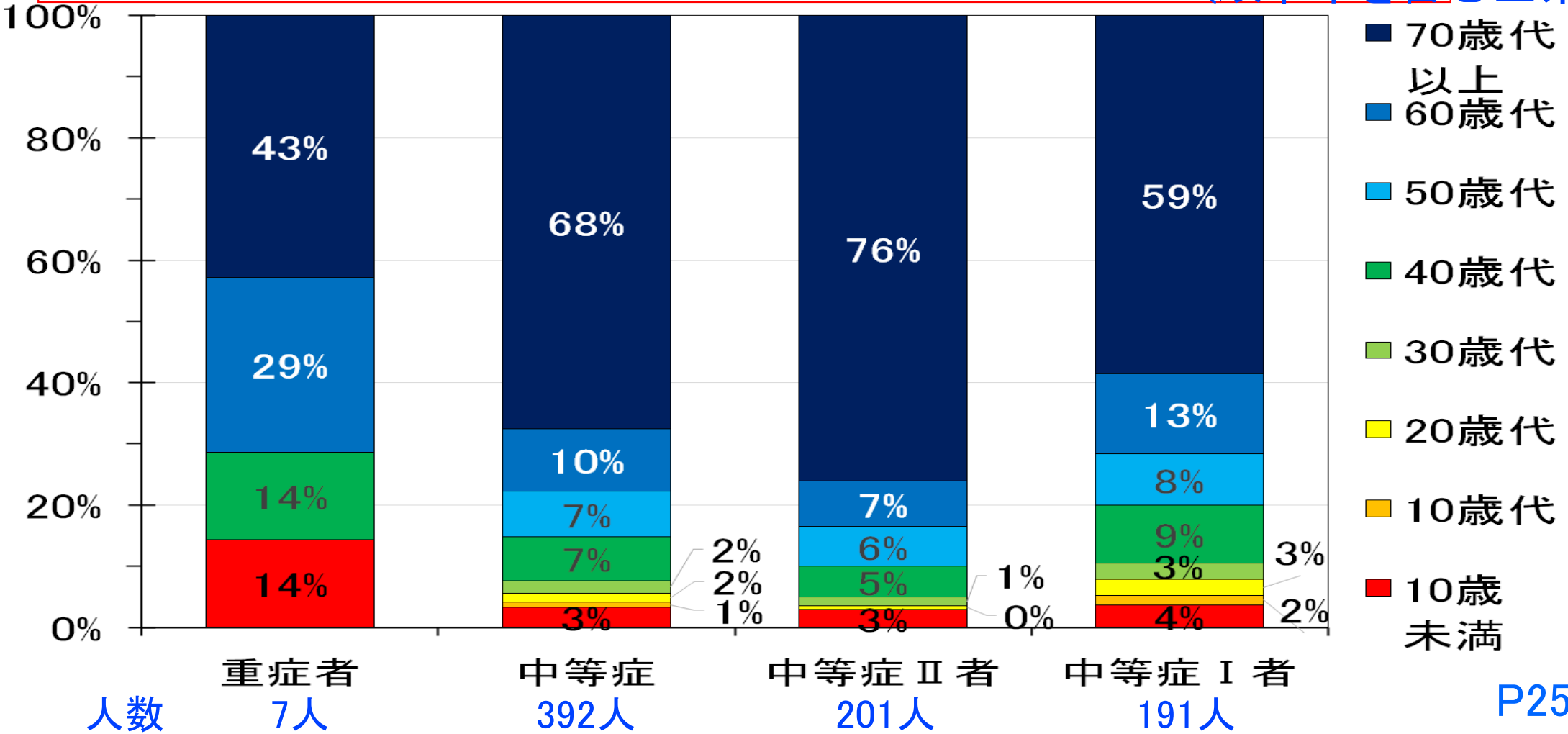
静岡県 年代別感染者の中等症以上発生率等(4/1~6/30)

- 全体での中等症以上の発生率は約0.7%、中等症Ⅱ約0.4%、重症0.01%
- 70歳以上の感染者の約8.3%は中等症以上、約4.7%は中等症Ⅱ以上

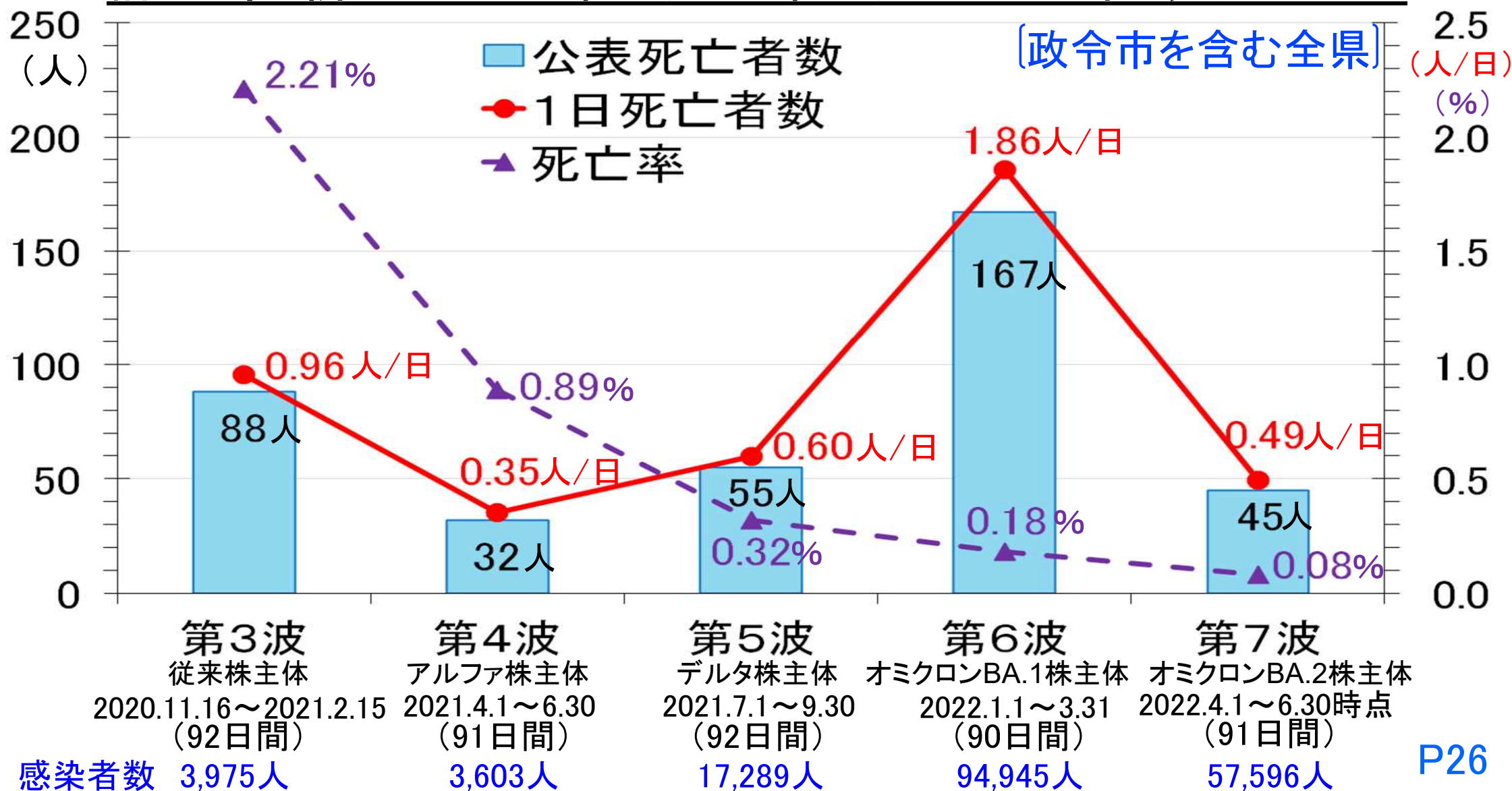


静岡県 重症度別感染者の年代分布(4/1~6/30)

- 重症者は7人のみで、70歳代以上3人と60歳代2人、40歳代・10歳未満各1人
- 中等症者の約70%は70歳以上、中等症Ⅱの約80%は70歳以上 [政令市を含む全県]

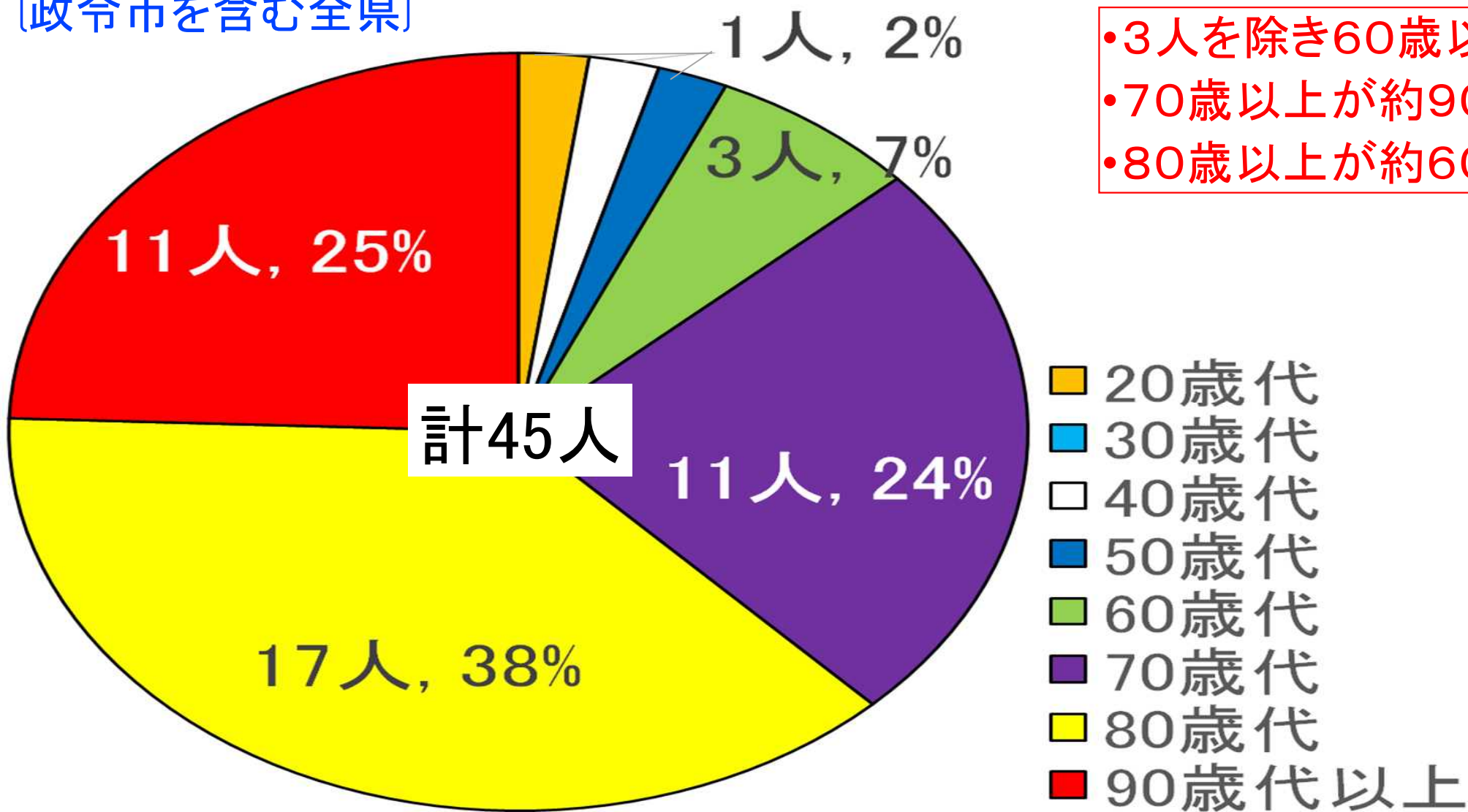


静岡県 新型コロナ第3波～第7波の死亡者数(～6/30)



静岡県 新型コロナ第6波の死亡者の年齢分布(4/1~6/30)

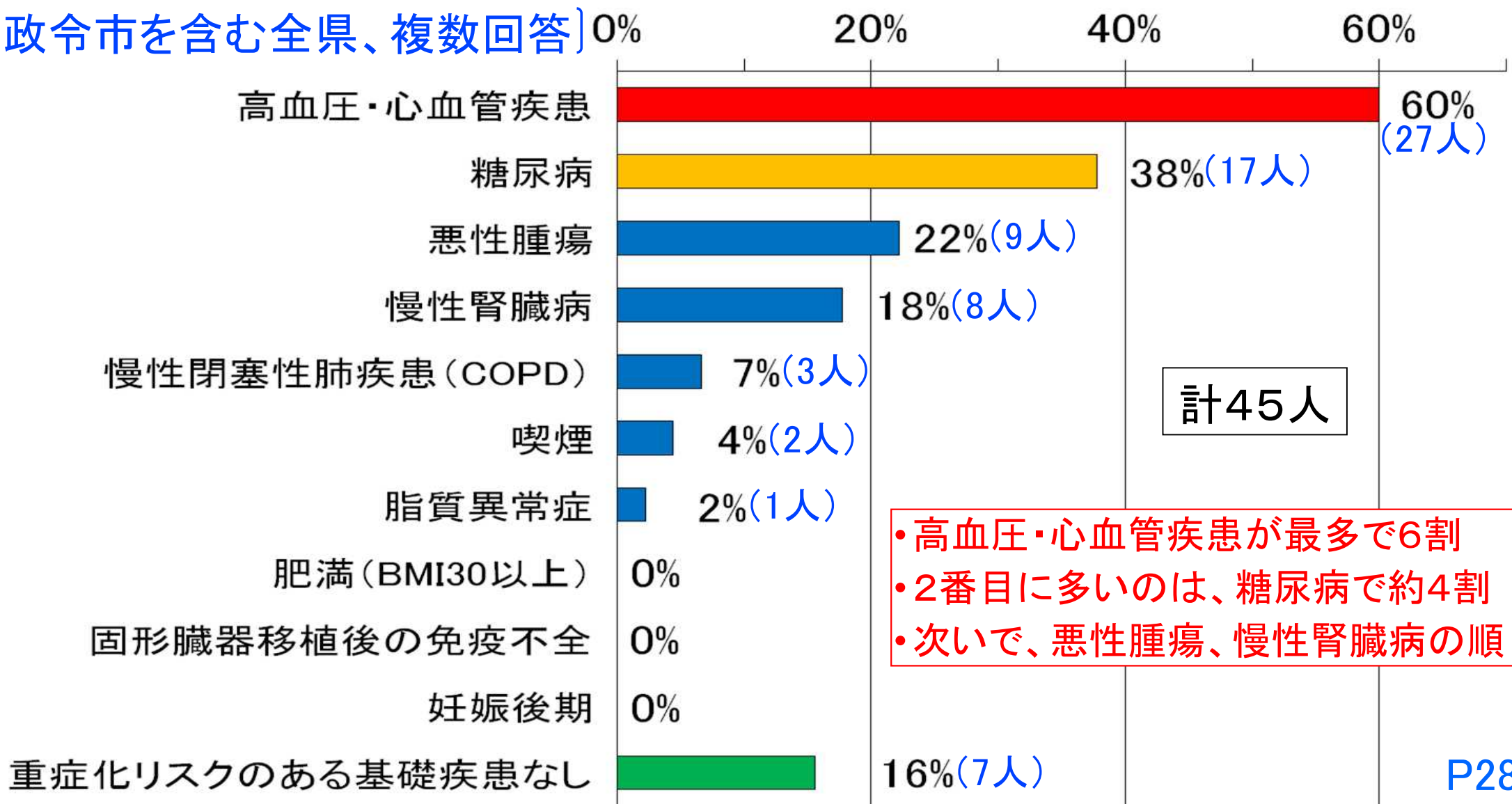
[政令市を含む全県]



- 3人を除き60歳以上
- 70歳以上が約90%
- 80歳以上が約60%

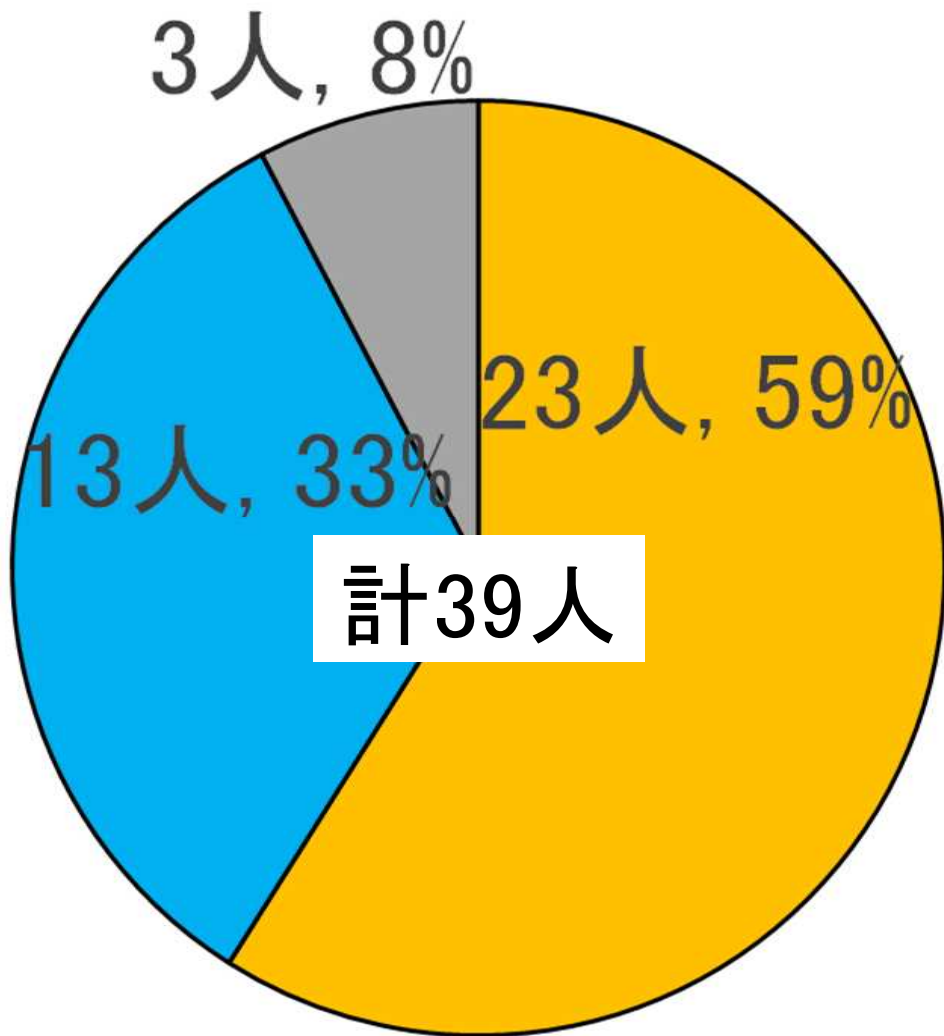
静岡県 新型コロナ第7波の死亡者の基礎疾患(4/1~6/30)

[政令市を含む全県、複数回答]



静岡県 新型コロナ第7波の死亡者の死因(4/1~6/30)

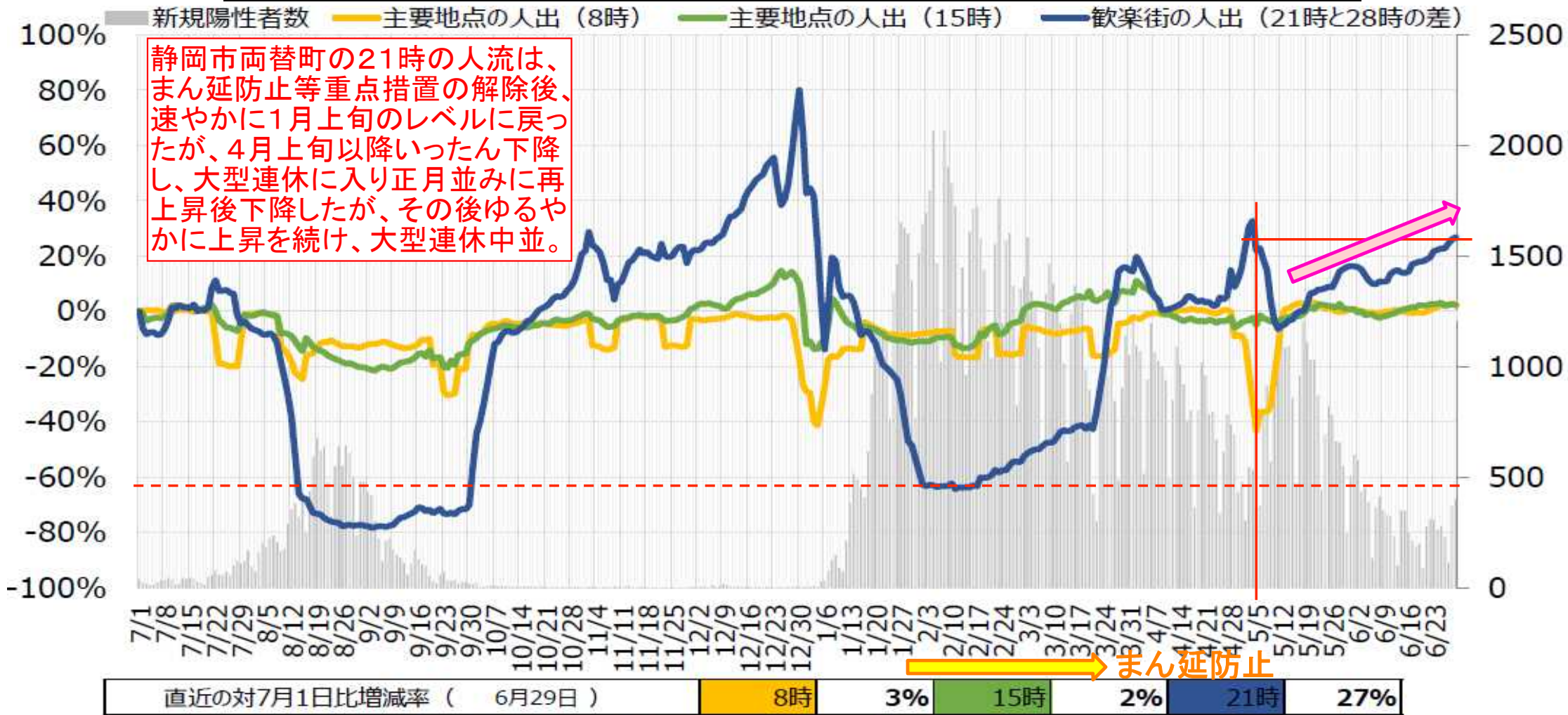
〔県が把握した方、政令市を含む〕



- 死亡者の約6割は、新型コロナウイルス感染症が主たる死因。
- 死亡者の少なくとも3分の1は、新型コロナウイルス感染症が主たる死因ではない。

- コロナ感染症が主たる要因
- コロナ感染症は主たる要因でない
- わからない

静岡市両替町の人流の状況（6/29時点）

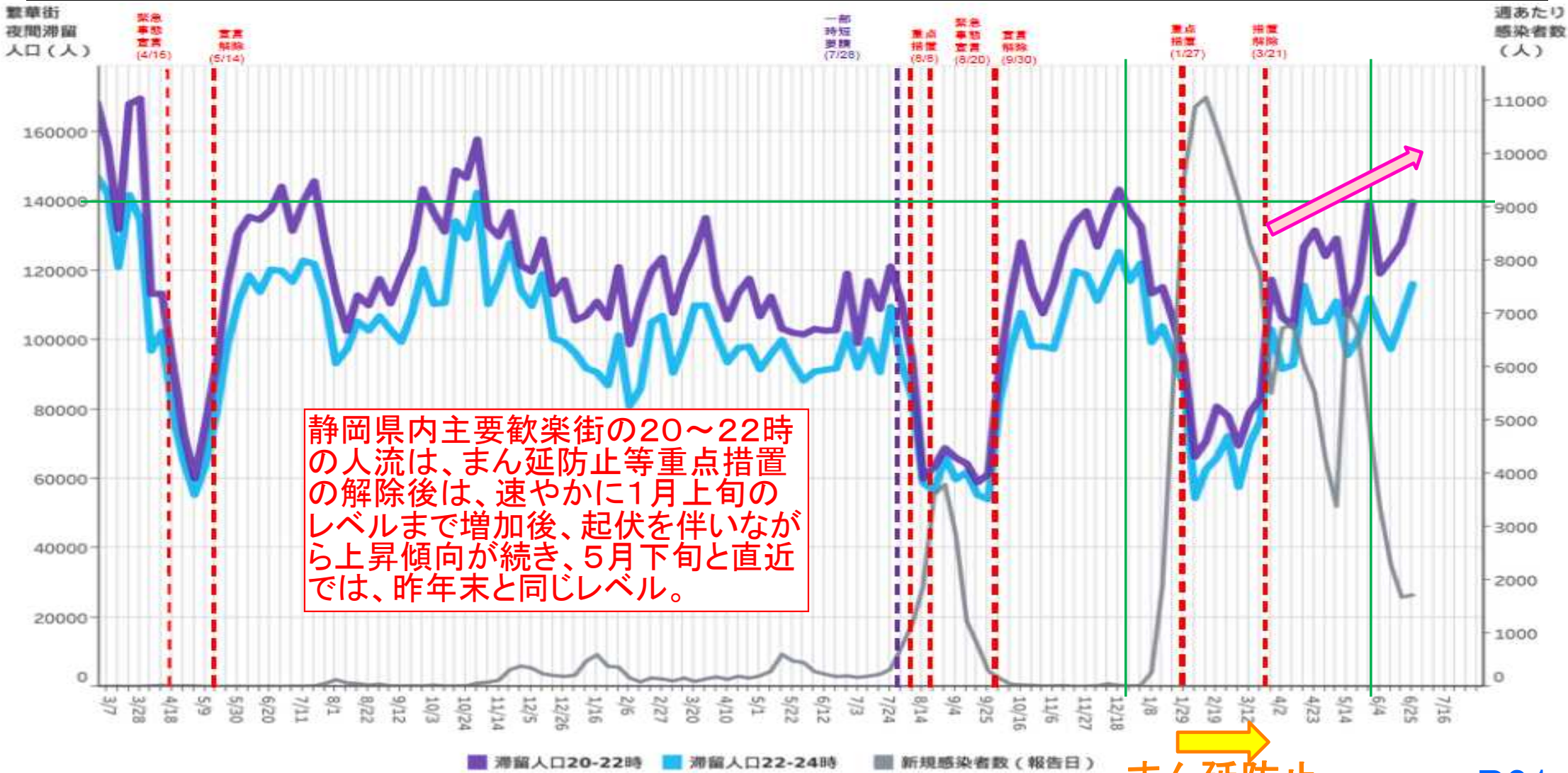


※グラフは、7月1日時点の人流の後方7日間移動平均（6月25日～7月1日の平均値）に対する、各日の後方7日間移動平均の増減率

（主要地点：静岡駅周辺、歓楽街：静岡両替町）

モバイル空間統計® データ提供元：(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング ※「モバイル空間統計®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

静岡県 掛川駅,沼津駅,静岡駅,浜松駅,富士市吉原の人流の状況 (6/25時点)



静岡県内主要歓楽街の20~22時の人流は、まん延防止等重点措置の解除後は、速やかに1月上旬のレベルまで増加後、起伏を伴いながら上昇傾向が続き、5月下旬と直近では、昨年末と同じレベル。

まん延防止

P31

対象都道府県：22 静岡県

対象歓楽街：掛川駅・沼津駅南・静岡駅・浜松駅・富士市吉原

都道府県別新規感染者数出典：NHK「都道府県別の感染者数」<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

全国季節性インフルエンザと静岡県新型コロナ・オミクロン株の比較(6/30時点)

指標(率)	季節性インフルエンザ※1	新型コロナ・オミクロン株※2
死亡	0.09% (27,679人/31,665,539人)	0.08% (45人/57,596人)
重症 (ICU/人工呼吸器)	0.08% (24,805人/31,665,539人)	0.01% (7人/57,596人)
中等症 (酸素投与以上)	0.51% (162,471人/31,665,539人)	0.35% (201人※3/57,596人)
入院	1.62% (51,2165人/31,665,539人)	1.96% (1,129人/57,596人)

※1;「2022年3月2日第74回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 資料3-10」より 観察期間は、2017年9月～2020年8月

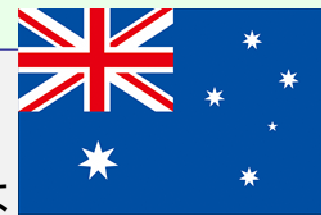
※2;静岡県健康福祉部感染症対策局調べ 観察期間は、2022年4月1日～6月30日

※3;新型コロナウイルス感染症においては中等症にはⅠとⅡがあるが、この人数は酸素投与を要する中等症Ⅱの入院患者数

南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/19時点)

《”Australian Influenza Surveillance Report No.06, 2022”のKey Messages》

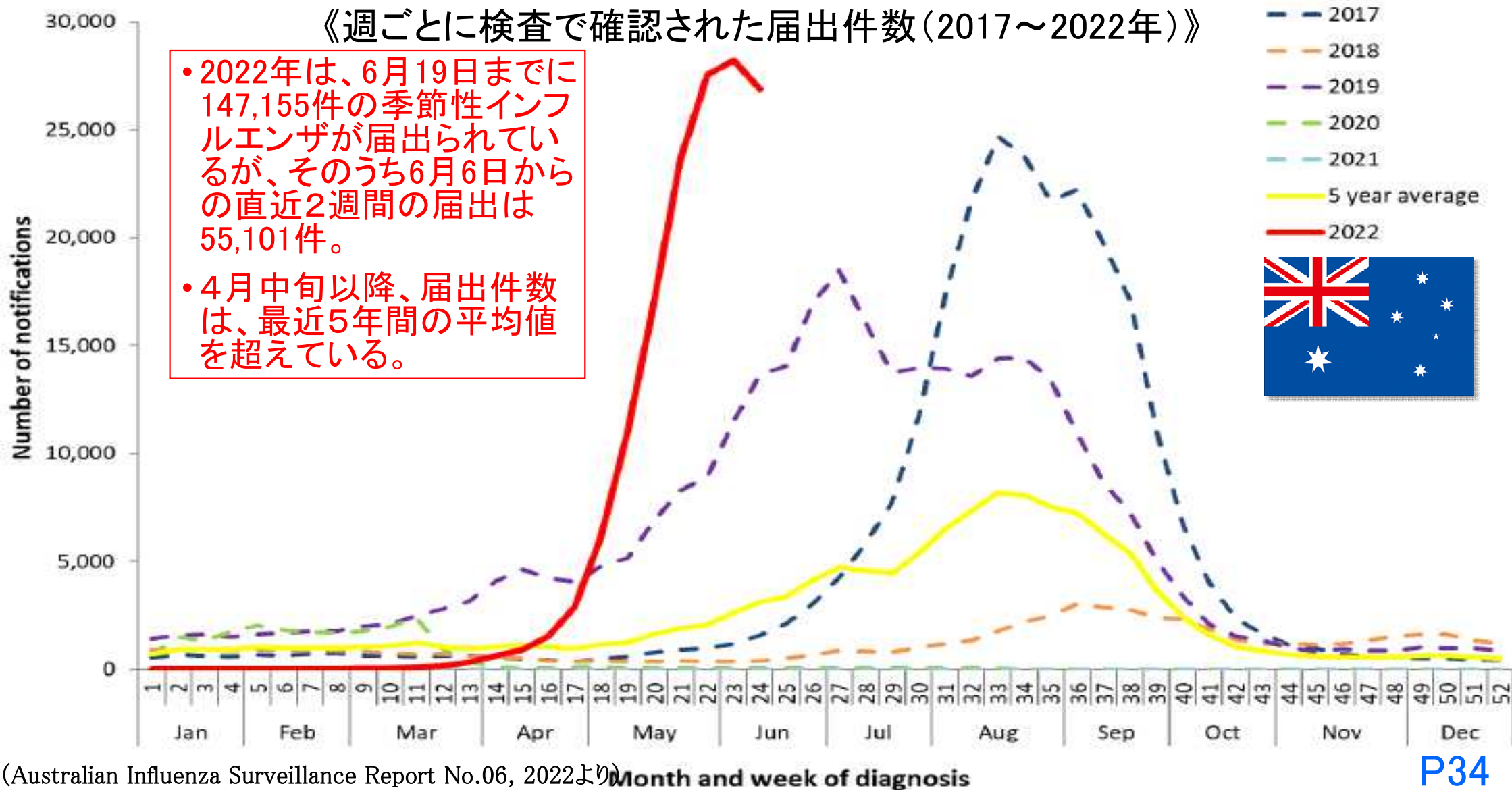
活動性	<ul style="list-style-type: none">• 今年のコミュニティでの<u>インフルエンザ様疾患(ILI)の活動は、2022年3月以降増加</u>している。• 2022年のこれまでに、オーストラリア届出疾患サーベイランスシステム(NNDSS)に<u>147,155件が届出されており、そのうち55,101件の届出は6月6日から6月19日の2週間に診断</u>された。• 2022年4月中旬から、オーストラリアで報告された検査で確認された<u>インフルエンザの週ごとの届出数は、5年間の平均を超えている</u>。
重症度	<ul style="list-style-type: none">• 今年初め以来、検査で確認されたインフルエンザ147,155件の届出のうち、54件のインフルエンザ関連の死亡が届出された。• 2022年4月の季節的サーベイランスの開始以来、インフルエンザによる入院は監視病院全体で989件報告されており、そのうち6.1%がICUに直接入院した。
影響	<ul style="list-style-type: none">• 現時点では、2022年<u>インフルエンザシーズンが社会に与える潜在的な影響の兆候はない</u>。
リスク集団	<ul style="list-style-type: none">• 2022年の現在までは、<u>5~9歳、5歳未満そして10~19歳が最も高い届出率</u>を示している。
ウイルス学	<ul style="list-style-type: none">• 現在までに、NNDSSに報告された検査で確認されたインフルエンザの届出の<u>83.4%がインフルエンザA</u>であり、そのうち94.8%がインフルエンザA(サブタイプ検査なし)、0.8%がインフルエンザA(H1N1)、4.4%がインフルエンザA(H3N2)。<u>インフルエンザBは届出の0.1%を占め、0.1%未満はAとBの重複感染であり、16.5%は型が分類されていない</u>。
ワクチンとの一致と有効性	<ul style="list-style-type: none">• これまでにWHO協力センターに照会された1,041の検体のうち、<u>インフルエンザA(H1N1)の98.8%、インフルエンザA(H3N2)の96.1%、およびインフルエンザB/ビクトリアは、対応するワクチン成分と抗原的に類似</u>の特徴があった。• 今シーズンのワクチンの適合性と有効性を評価するには時期尚早である。



南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/19時点)

《週ごとに検査で確認された届出件数(2017~2022年)》

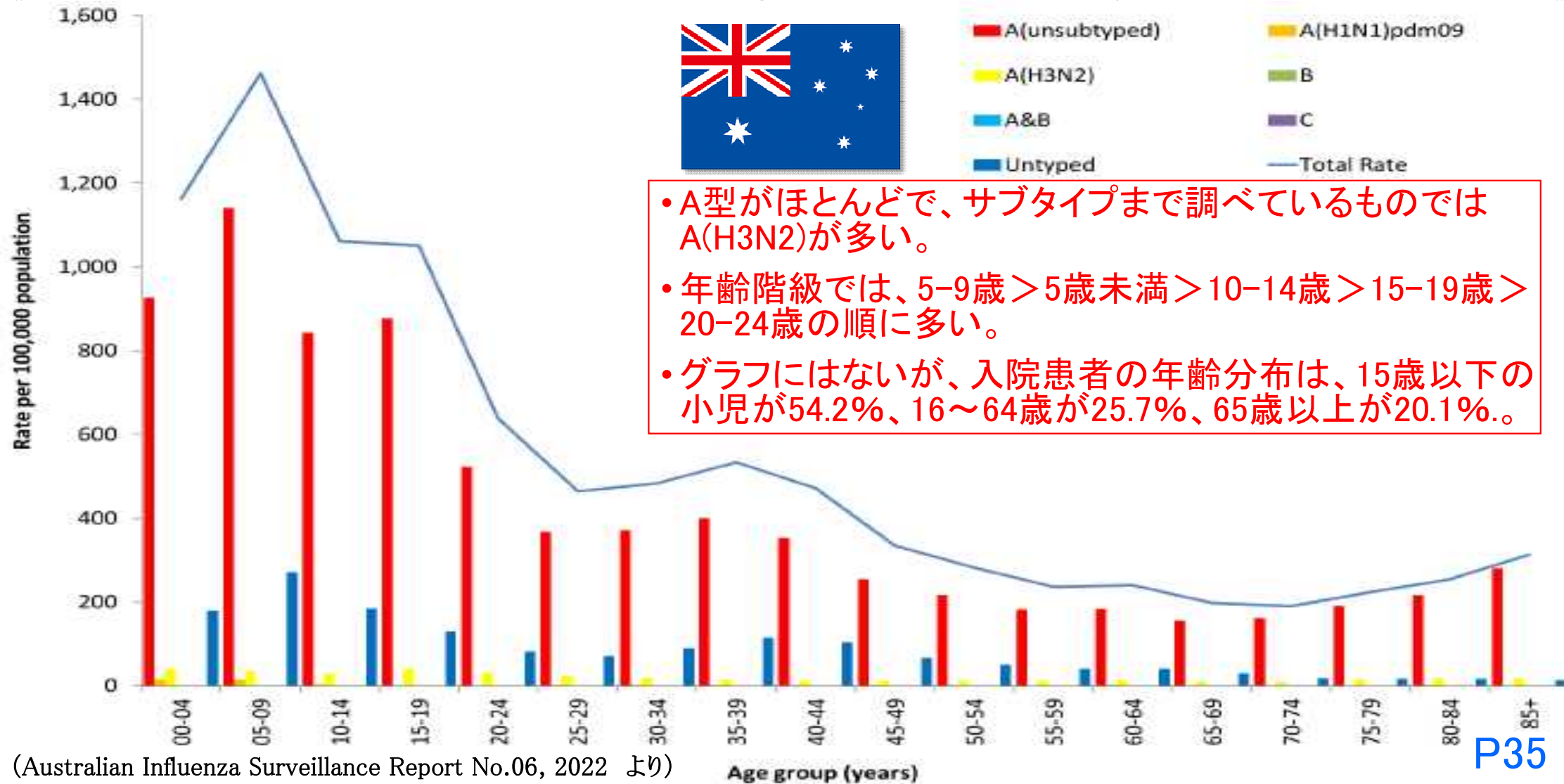
- 2022年は、6月19日までに147,155件の季節性インフルエンザが届出られているが、そのうち6月6日からの直近2週間の届出は55,101件。
- 4月中旬以降、届出件数は、最近5年間の平均値を超えている。



(Australian Influenza Surveillance Report No.06, 2022より)

南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/19時点)

《年齢階級別・サブタイプ別 人口10万人あたりの検査で確認された届出数(2022年1月1日～6月19日)》



• A型がほとんどで、サブタイプまで調べているものではA(H3N2)が多い。

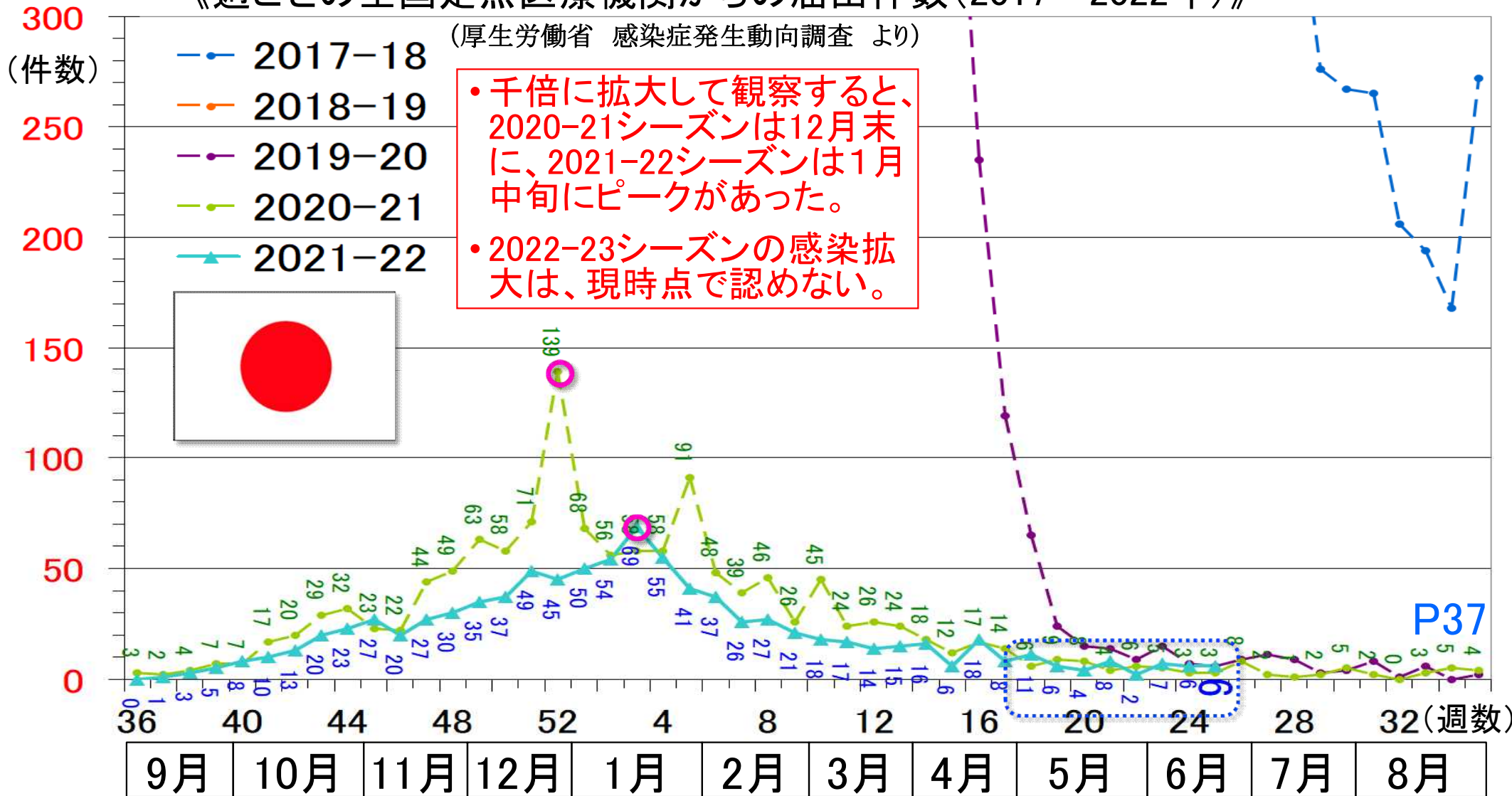
• 年齢階級では、5-9歳 > 5歳未満 > 10-14歳 > 15-19歳 > 20-24歳の順に多い。

• グラフにはないが、入院患者の年齢分布は、15歳以下の小児が54.2%、16～64歳が25.7%、65歳以上が20.1%。

(Australian Influenza Surveillance Report No.06, 2022 より)

日本の季節性インフルエンザの流行状況(6/26時点)【1,000倍拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



今後の感染者数増減の要因は



増加 ↑ 要因

減少 ↓ 要因

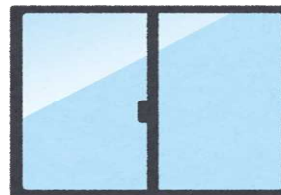
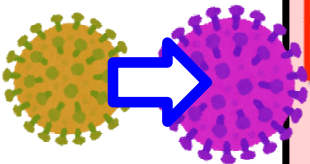
**BA.4/5へ
置き換わり?**

**3回目接種
者数の増加**

**マスク無しで会話する
増 時間 × 相手人数 減**



どんより 換気

良好



熱中症予防のためのお願い

① 暑い所に長く留まらない!

- ・ エアコンで28℃以下を  
- ・ 屋外では頻繁に日陰で休憩

② 水分・塩分を定期的に補給

③ 外でマスクは接近会話のみ

No Mask

屋外では、帽子、日傘、日陰で
マスクはせず、水分を飲もう

In The Sun

